

平成30年度

北部保健医療圏圏域別取組実施計画

目 次

親と子の保健対策	3頁
在宅医療(在宅歯科診療を含む)	15頁
精神疾患医療	26頁
健康増進・生活習慣病等予防対策	38頁
健康危機管理体制の整備充実	59頁

事業名

親と子の保健対策

目標

相談体制の充実、関係機関との連携強化、支援に携わる人材の育成等に努め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うほか、小児期から思春期における親と子の保健対策を実施します。

主な取組

- 不妊・不育症に関する支援の充実
 - 小児在宅医療の環境整備
 - 児童虐待防止のための体制強化
 - 発達障害児への支援の充実
 - 思春期保健対策の強化と健康教育の推進
- 実施主体：保健所、市町、医療機関、医師会、児童相談所、教育機関

平成30年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 乳児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診の実施</p> <p>【対象】 一般市民(乳幼児とその父母等)</p> <p>【方法】 熊谷市から受託し乳児健診、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施す</p> <p>【手順】 乳児健診及び3歳児健診は集団検診として実施し、会場である母子健康センター等に会員の医師を派遣する。また、1歳6か月児健診は今秋から個別健診として実施し、参加希望の医療機関に対し必要な研修を実施する。</p>	

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 休日・夜間急患診療所への医師の派遣</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 熊谷市と連携しながら、休日・夜間急患診療所へ会員の医師を派遣する。安定した執務体制を確保するために、新規会員を含め、会員に積極的にPRを行い、医師の確保に努める。</p>	

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	DMFTの減少を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 小児う蝕予防対策事業の推進</p> <p>【対象】 保育園児・幼稚園児・小学生</p> <p>【方法】 フッ化物洗口</p> <p>【手順】 市内各保育園・幼稚園・小学校において、フッ化物洗口を実施する。</p>	引き続き、熊谷市第2次健康増進計画の目標値の達成を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 ママ・パパ教室</p> <p>【対象】 妊産婦、父親等</p> <p>【方法】 講義による口腔衛生の啓発</p> <p>【手順】 母子健康センター、妻沼保健センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し講義を行う。</p>	う蝕と共に、口腔機能の健全なる発達も考慮していきたい。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 1歳6か月児健診 【対象】 1歳6か月から2歳の誕生日の前々日までの幼児 【方法】 歯科医療機関での個別健診 【手順】 対象児の保護者に受診票が送付され、直接医療機関に健診の予約をする。	集団健診から個別健診に今年度途中から移行するが、受診率の向上と、さらにきめ細かい対応を目指したい。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	次世代育成支援の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対して、その治療に係る費用の一部を助成する	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 熊谷市不妊治療費助成事業 【対象】 特定不妊治療を受けた夫婦 【方法】 県の補助額を控除した額に対して1年度当り10万円を限度に通算5年度助成 【手順】 度助成	年度当り140件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	子供を望む夫婦に対して、不妊検査及び不育症検査に係る費用の一部を助成する	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 熊谷市不妊検査費等助成事業 【対象】 不妊検査・不育症検査を受けた夫婦 【方法】 不妊検査・不育症検査に係る費用の自己負担額に対して、夫婦1組につき3万円(千円未満切り捨て)を上限にそれぞれ1回限り助成 【手順】	不妊検査 100件 不育症検査 20件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	子供を望む夫婦に対して、不育症治療に係る費用の一部を助成する	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 熊谷市不育症治療費助成事業 【対象】 不育症治療を受けた夫婦 【方法】 不育症治療に係る費用の保険適用外の自己負担額に対して、1年度当り30万円を限度に通算5年度助成 【手順】	不育症治療 5件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	発達や発育に障害または遅れのある児童に対する発達支援とその保護者に対する相談・支援	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 あかしあ育成園(指定障害児通所支援事業所) 【対象】 市内在住の未就学児で、保護者または、家族とともに通園できる発達支援児 ・日常生活における基本的な生活習慣を身につけることや社会生活への適応性を高めるために必要な機能訓練と保育指導を行う 【方法】 ・遊びや生活体験を通して、コミュニケーションを育てる ・親子通園にて、児童の援助方法のトレーニングを行う 【手順】 随時、園にて入園希望者への説明、面談を行う。	定員40名を満たす。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	妊娠期から養育支援を行うことにより、児童虐待の予防に繋げる	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 妊娠期からの虐待予防強化事業 【対象】 妊産婦 【方法】 ・医療機関からの養育支援連絡票(情報提供書)に基づいて、家庭訪問等による養育支援を行う。 【手順】 ・医療機関が妊娠・出産期等に把握し、支援を行うことが特に必要と判断した対象者に対し、養育支援連絡票を受理し支援する。	養育支援連絡票による情報提供に対し、医療機関の判断に基づいた支援を行う

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	発達障害の疑いがある幼児と保護者へ支援の充実を図る	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達支援事業 【対象】 発達面において支援が必要な幼児と保護者 【方法】 ・言語聴覚士、臨床心理士による個別相談において、子どもの特性を把握し、それに応じて育児のアドバイスをを行い、必要時療育機関へつなげる。 ・集団の中で遊びを通して発達を促す親子教室(すくすくスクール) 【手順】 ・1歳6か月児健診や3歳児健診時、言葉の遅れや行動面に心配がある場合等で事後指導が必要な場合、適切な時期に保護者へ連絡し発達状況を確認し支援する。 ・市外からの転入者もいることから、市報やホームページにて、発達相談の案内周知を図る。	・言語聴覚士、臨床心理士による個別相談件数 ・親子教室への参加親子数

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	通常学級において、発達障害等があり、支援を要する児童生徒が在籍している。現在、通級指導教室や特別支援学級を利用し、個別の指導が実施されているが、その他にも発達障害に対して支援の必要な児童生徒が在籍している。そこで、特別支援学級、通級指導教室の担任だけでなく、在籍児童生徒の担任に向けても、研修を実施していく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達障害児への支援の充実 【対象】 小・中学校教職員 【方法】 夏期休業日を中心に発達障害等のある児童・生徒と関わる教職員に 【手順】 研修を実施する	参加者200名(延べ人数)

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	特別支援教育巡回相談として、各学校に臨床心理士を派遣し、発達障害等がある児童生徒に対して正しい理解が持てるよう指導助言を行っている。各小・中学校、幼稚園1～2回程度の実施にとどまるため、児童生徒一人一人に関われる時間が限られている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達障害児への支援の充実 思春期保健対策の強化と健康教育の推進 【対象】 市内幼稚園・小学校・中学校 【方法】 年間の派遣計画を立て、各小・中学校・幼稚園の希望に合わせて 【手順】 派遣する	92回の実施

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	養護相談(児童虐待相談を含む)、保健相談、非行相談、育成相談等、様々な相談に対応します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 児童相談事業 【対象】 少年及び保護者 【方法】 様々な悩みを抱える少年や保護者からの、養護相談、保健相談、非行相談、育成相談等、子どもに関する様々な相談に対し、電話、面接、訪問により対応します。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	妊娠・出産・子育て期における母子の子育てに関する情報提供や、相談を行い、また自ら支援を求めることが困難な家庭に、訪問による支援事業を実施します。母子保健部門のこんにちは赤ちゃん事業との連携を図り、児童虐待の未然防止を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 養育支援訪問事業 【対象】 妊娠・出産・子育て期における母子 【方法】 子育てに関する情報提供や、電話や面接による相談、訪問により 【手順】 対応し、また母子保健部門との連携により対応します。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	児童虐待防止のため関係機関のネットワーク体制強化を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 要保護児童対策地域協議会で課題の検討 【対象】 関係課所、児童相談所、保健所、警察署 【方法】 関係機関のネットワーク連携により児童虐待防止の未然防止と 【手順】 早期発見、虐待を受けた子どもの保護や支援体制の充実に図ります。	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	不妊に悩む夫婦の不妊治療費に対して助成金を交付することにより、経済的負担を軽減し、少子化対策、次世代育成の推進、定住促進を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 不妊治療費助成事業 【対象】 一般・特定不妊治療を受けていて、本庄市に1年以上在住している夫婦 【方法】 本庄市不妊治療費助成金交付要綱による。 【手順】 広報やHP等で周知を図る。	不妊治療費助成を行うことで、不妊に悩む夫婦が少しでも早期に不妊治療を始める後押しになるようHP・パンフレット配布等で周知を図る。

実施機関	本庄市	
現状・課題等	発達障害と疑われる、あるいは発達障害を抱える子どもたちとその保護者への支援のため、臨床心理士や言語聴覚士、作業療法士などの専門スタッフを充実させるとともに、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携にも重点を置き、支援の充実に図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達教育支援センター事業 【対象】 未就学児、児童生徒、保護者、保育所(園)・幼稚園・学校等関係者 【方法】 さくらんぼ教室、訪問(個別支援、クラス支援)、就学支援、発達検査、事例検討会、相談支援ファイル作成支援、研修会、個別相談の実施 【手順】 未就学児や児童生徒の保護者、または保育所(園)、幼稚園、学校関係者から相談	発達障害を疑われる、あるいは発達障害を抱える子どもたちとその保護者等への支援をすることによって、子どもたちが地域社会で自立した生活ができるようにする。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	核家族化や地域とのつながりの希薄化等が進み、出産や子育てに対して身近な協力が得られにくい中、不安をかかえたまま出産を迎えたり、孤立した育児を行っている現状がある。今後は妊娠期から子育て期まで、関係機関と連携し、切れ目のない支援を提供することで、安心して妊娠、出産、育児が行えるような相談支援体制を強化していく必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 母子健康包括支援センターの相談支援の強化 【対象】 妊婦、産婦、新生児から乳幼児まで 【方法】 ①妊娠から子育て期まで、切れ目のない支援が提供できるように、原則同一の保健師または助産師が母子健康手帳の交付から、妊娠8カ月での電話支援、新生児産婦訪問指導等の相談支援を行う。 ②安心した出産、子育てが行えるように、関係機関との連携を強化していくための連絡会を定期的に開催する。	必要なかたへの支援プラン作成率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	晩婚化の進展に伴い、年齢を重ねるほど妊娠率が下がり妊娠・出産にかかるリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対し、不妊治療、早期不妊検査、不育症検査に係る費用の負担軽減を図ることを目的として事業を実施することにより、少子化対策等の推進を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ハッピーエンゼル支援事業 【対象】 子どもを望む夫婦で、不妊治療費の補助、早期不妊検査費、不育症検査費の補助を希望するかた 【方法】 申請により、基準に該当する方に補助を実施 事業の周知等を実施し、必要な方の利用を推進する。 【手順】 ①不妊治療費補助事業…不妊治療にかかる費用のうち1年度あたり1回、通算5年度まで助成 ②早期不妊検査費・不育症検査費補助事業…早期不妊検査・不育症検査にかかる費用の一部を1回のみ助成	補助事業の申請者の増加

実施機関	深谷市(こども未来部 こども青少年課)	
現状・課題等	児童虐待の早期発見、防止につなげる	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 虐待防止講演会 【対象】 要保護児童対策地域協議会関係機関、主任児童委員、保育園保育士、幼稚園教諭、小中学校教諭等 【方法】 虐待予防月間に合わせ講演会を年1回開催 関係職員の虐待に対する理解を深め、実際の対応方法を学ぶ	参加者の虐待防止の意識が高まったと思える

実施機関	深谷市(障害福祉課)	
現状・課題等	発達障害児への支援の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 障害児通所支援 【方法】 心身に障害や発達の遅れがある児童を対象に、通所または訪問により、療育・訓練等の支援を行う。サービスの種類として、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援がある。 【手順】 申請により審査を行い、支給決定となった後、サービス利用開始となる 【事業名】 障害児相談支援 【方法】 障害のある児童の心身の状況や環境、利用に関する意向を勘案し、障害児支援利用計画を作成するとともに、一定期間ごとに計画内容の見直しも行う。 【手順】 特定相談支援事業所に相談を行う。	サービス利用件数

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 美里町早期不妊検査費助成事業</p> <p>【対象】 ①申請時に法律上の婚姻をしている夫婦 ②申請時に夫婦の双方または一方が美里町に住所登録がある方 ③検査開始時の妻の年齢が43歳未満である方 ④町税等を滞納していない方</p> <p>【方法】 不妊症のための検査に係る費用で、2万円を限度として助成</p> <p>【手順】 申請に必要な書類(①~⑥)を保健センターへ提出する。 ①美里町早期不妊検査費助成事業に係る実施証明書(指定医療機関が記入したもの) ②指定医療機関が発行する領収書原本 ③②の内容が分かる明細書 ④申請者の印鑑 ⑤振込先がわかるもの ⑥夫婦が別世帯の場合は婚姻をしている夫婦であることを証明できる書類</p>	子どもを望む夫婦に対し不妊検査に係る費用の負担軽減を図る。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 美里町不妊治療費助成事業</p> <p>【対象】 ①~③すべての項目に該当する夫婦 ①埼玉県の不妊治療費の助成を受けている方(埼玉県不妊治療費助成事業の対象要件には、所得要件や対象治療の要件等が定められている。) ②美里町に1年以上住民登録をしている方 ③町税等を滞納していない方</p> <p>【方法】 埼玉県不妊治療費助成事業による助成金を控除した額とし、夫婦1組につき1年度当たり1回のみ10万円を限度に通算5年度、また、男性不妊治療にあつては、5万円を限度として助成。(妻に係る特定不妊治療に対する助成が通算5年度に達したときは助成しないものとする。)</p> <p>【手順】 申請に必要な書類(①~⑤)を保健センターへ提出する。 ①埼玉県不妊治療費助成事業不妊治療実施証明書の写し ②埼玉県不妊治療費助成事業助成金支給決定通知書の写し ③治療費の領収書 ④申請者の印鑑 ⑤振込先がわかるもの</p>	経済的負担の軽減を図ることで、治療を受ける機会を増大し、少子化対策及び次世代育成支援の推進を図る。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	赤ちゃん訪問でPRしている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 小児医療に関する適切な受診などの普及啓発</p> <p>【対象】 住民</p> <p>【方法】 広報みさとの掲載。赤ちゃん訪問等でチラシ配布。</p> <p>【手順】 赤ちゃん訪問は全戸訪問実施。その際に、救急相談センター#7119・小児救急電話相談#8000・休日急患診療所・在宅当番医・救急医療情報センター・児玉郡市広域消防本部等の情報を提供している。県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を配布している。</p>	小児医療の普及と啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 休日急患診療所運営事業・在宅当番医制運営事業・病院群輪番制運営事業</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【方法】</p> <p>【手順】</p>	地域住民の急病患者の診療確保

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 小児救急医療支援事業 【対象】 小児 ・熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・藤岡総合病院後方支援事業 ・伊勢崎市民病院後方支援事業 【方法】 【手順】	休日・夜間を含め、小児救急患者の受け入れができる体制を確保する。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 カンガルー教室 【対象】 健診や健康相談等において、運動面や発達面で継続した指導が必要と思われる幼児及びその保護者、並びに育児に不安を持つ保護者。 【方法】 月1回、作業療法士や保健師が親子の楽しい遊びを通して、療育機関へ繋げたり、日常生活の関わり方等相談支援を行う教室。 【手順】	運動面や発達面で継続した指導が必要と思われる幼児及びその保護者を対象に、親子の遊びを通して、作業療法士や保健師が育児を支援し適切な療育へ繋げる。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達相談 【対象】 カンガルー教室参加者の中で個別に発達相談が必要な方。 【方法】 月1回、カンガルー教室参加時に希望者や必要な方に声かけを行い、作業療法士、保健師による個別相談を行う。 【手順】	発達面や家庭の保育上の問題の軽減を図るため適正な指導助言を行う。

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ことばの相談 【対象】 健診や健康相談等において、言葉の発達に対して継続した指導が必要と思われる幼児及びその保護者。 【方法】 月1回、言語の発達に問題のある乳幼児に対して、言語聴覚士による家庭で行う訓練や、言語発達を促す関わり方等の適正な指導助言を行う。 【手順】	言語の発達に問題のある児の成長発達を促すとともに、家族の保育上の問題の軽減を図る。

実施機関	美里町(住民福祉健康課)	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 要保護児童対策地域協議会実務者会議 【対象】 要保護児童・要支援児童 【方法】 年1回、各機関の実務担当者が集まり、要対協が対象とする全ての進行管理として、ケースの状況及び主たる支援機関の確認、支援方針の見直しを行う会議 【手順】	虐待児の早期発見、支援へ繋げる。

実施機関	美里町(住民福祉健康課)	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 発達障害に関わる巡回支援 【対象】 各保育園、幼稚園児 【方法】 各保育園、幼稚園へ4月に通知を行い、社会福祉協議会が随時受 【手順】 日程調整を行い、臨床心理士による巡回訪問を行う。	発達障害児や、そのおそれのある児に対して早期発見、関係機関へ繋ぐ等の支援を行う。

実施機関	神川町	
現状・課題等	年間出生80人前後で出生率5.3(人口千対)(平成27年度)と年々減少傾向にある。産前産後を支える公的サービスや社会資源もほとんどなく、安全で安心して子育てできる子育て環境の整備が必要。また、妊娠期から生涯にわたる継続的な支援体制の構築を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 早期不妊検査・不育症検査費助成 【対象】 以下の全ての項目に該当する夫婦 【不妊検査・不育症検査】 夫婦の双方又は一方が、神川町に住民登録をしていること 不妊検査開始時の妻の年齢が43歳未満であること 町民税等を滞納していないこと 【不育症検査】 法律上の婚姻をしていること 【方法】 上限を2万円とし、不妊検査にかかった費用の自己負担額を助成(1,000円未満の端数は切捨てる。助成回数は1組の夫婦に1回限り) 【手順】 県補助金により運営	年齢を重ねるとともに妊娠率が下がるとともに流産率など妊娠・出産に係るリスクが高まる。子どもを望む夫婦に対して不妊検査費等の助成を行うことで、適切な治療に繋げる。

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児救急の知識や情報の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 小児救急の知識や#7911・#8000、休日急患診療所等の普及啓発 【対象】 乳幼児、小児をもつ保護者 【方法】 赤ちゃん訪問や6カ月児健診での説明及び広報、HP、チラシ、冊子での啓発等。赤ちゃん訪問時等に県作成の救急ミニガイドブックも併せて配布 【手順】	赤ちゃん訪問や健診時に、病気や怪我の対応に関する知識を深めたり、受診方法を知り、保護者が緊急時に対応できる力を身につける。また周知度を高める。

実施機関	神川町	
現状・課題等	休日・夜間救急診療体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 休日・夜間救急診療体制の整備 【対象】 地域住民 【方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・休日急患診療所運営事業 ・在宅当番医制事業 ・平日夜間診療事業 ・病院群輪番制病院運営事業 【手順】 本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営	事業の継続と維持を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児救急医療体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 小児救急医療体制の整備 【対象】 小児 【方法】 ・熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・県外小児救急医療後方支援事業(公立藤岡総合病院・伊勢崎市民病院) ・小児救急医後方支援事業(深谷赤十字病院) 【手順】 ・県北6市町または郡市4市町の負担金により運営	事業の継続と維持を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	発達障害児への支援の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 療育相談 【対象】 乳幼児、児童、生徒、その家族 【方法】 ・理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士による相談・支援 ・微細運動、粗大運動、情緒に関すること、口の機能、言語機能について助言、指導 【手順】 乳幼児健診や育児相談の場面で、支援の必要な方へ周知、勧奨	身近な地域で発達の支援を行うことで安心して相談につなげることが出来、また支援を受けやすくする。

実施機関	神川町	
現状・課題等	発達障害児への支援、その家族を支える支援	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 心理相談 【対象】 乳幼児、小児、その家族 【方法】 発達に関すること、子どもの心理に関することについて助言、指導 【手順】 乳幼児健診や育児相談の場面で、支援の必要な方へ周知、勧奨	発達障害児の早期発見、早期支援を行い、子育ての不安軽減を図る。また、情報の普及啓発を行う。

実施機関	神川町	
現状・課題等	児童虐待防止のための体制強化	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 神川町要保護児童対策地域協議会 【対象】 虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童 【方法】 代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を実施する 【手順】 要保護児童等対策調整機関による進行管理 協議会内の共通理解 支援・援助の実施 支援・援助内容の確認と蓄積	関係機関と連携をし、子育て不安の軽減や孤立を防ぎ、虐待予防を行う。また、虐待発生時に迅速、的確な対応を図り、被虐待児の健全な育成に努める。

実施機関	上里町	
現状・課題等	不妊症治療・不妊症検査・不育症検査の助成に係る情報の啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 ①上里町不妊症治療助成事業 ②上里町早期不妊症検査・不育症検査助成事業 【対象】 妊娠を希望する住民 【方法】 広報・ホームページ・フェイスブックで引き続き周知を図る。各個人の治療や検査の内容に合わせた情報の提供を行う。 【手順】	不妊症治療・不妊症検査・不育症検査の助成件数。

実施機関	上里町	
現状・課題等	保育所や幼稚園等に就園している場合は、各施設の職員が発達が気になる子供への対応を行っている。各施設での適切な支援について、専門職から助言をしてもらう機会が少ない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 子供の発達支援巡回事業 【対象】 町内保育所・幼稚園等に通う子供 【方法】 専門知識を有する者が保育所・幼稚園等を巡回訪問し、発達が気になる子供の早期支援に関して職員等に助言等を行う。 【手順】 ①事前に発達が気になる子供の情報を提供してもらう。 ②各園を巡回訪問し、対象となった子供の様子を観察した後、職員等に専門家より助言等を行う。	発達が気になる子供に対して、適切な早期支援が行われるようにする。(支援人数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	要保護児童の早期発見や適切な保護及び要保護児童等への適切な支援を図るため、協議会を設置し関係機関との連携を取っている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 上里町要保護児童対策地域協議会 【対象】 要保護児童並びにその家族 【方法】 児童相談所、保健センター、警察、保育園等の関係機関によって構成される協議会により、必要に応じ会議を開催する。 【手順】 要保護児童の適切な保護を図るため、会議において必要な情報の交換を行うとともに、要保護児童等に対する支援等の内容に関する協議及び調整を行う。	「代表者会議」年1回、「実務者会議」年2回、「ケース会議」を必要に応じて開催する。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	不妊治療・不育症検査・不育症検査費用の助成を実施している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 不妊治療費、不妊・不育症検査費助成事業の継続と普及啓発 【対象】 妊娠・出産を望む婚姻上の夫婦 *年齢等詳細は各要綱による 【方法】 【手順】 広報誌等で本事業のPRを行う。	不妊治療・、不妊・不育症検査費助成事業の普及啓発を実施する

実施機関	寄居町	
現状・課題等	子育て世代包括支援センターが未設置である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 寄居版ネウボラ開設準備事業 【対象】 妊娠から出産・子育て世代の児及びその家族 【方法】 関係課と調整し、寄居版ネウボラの開設準備を行う 【手順】 近隣市町村の実施状況を踏まえ、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援の実現に向け関係部署と調整を行う。	寄居版ネウボラの設置に向け、関係部署との調整ができる。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	不妊・不育症に悩む夫婦が増えている。検査・治療を早期に受けられるよう支援を進める必要がある	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 不妊治療費助成事業の周知と相談体制の充実を図る 【対象】 特定不妊治療(体外受精および顕微授精)や男性不妊治療を受けた方 【方法】 治療費の助成 【手順】 関係機関と連携して案内配布・チラシ・窓口等で制度の周知をする申請を受理し費用助成を決定する	不妊・不育症等に関する支援の充実

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	医療の進歩に伴い、在宅で医療ケアが必要な子供が増えており、小児医療を充実させる必要がある	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 小児在宅医療の環境整備 【対象】 小児慢性疾患を持つ親子、医療的ケア字に関わる関係者および関係機関 【方法】 集い、研修会の実施 【手順】 医療的ケア児に関わる研修会	小児在宅医療の環境整備

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	児童虐待の予防・早期発見のためのネットワークと支援体制の充実・強化を図る必要がある	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 妊娠期からの虐待予防強化事業 【対象】 関係者及び関係機関 【方法】 研修・会議の実施 【手順】 母子保健連携調整会議・事例検討会の実施	児童虐待防止のための体制強化

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	特徴が周囲から理解されず、不適切な対応が生じる可能性がある、発達障害のある子どもと親への支援ニーズが高まっている	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 子供の心の相談・子供の心のネットワーク事業 【対象】 子供の心の健康問題に悩む親子、関係者 【方法】 専門相談の実施、連絡会議・研修会の開催 【手順】 専門相談の実施 小児精神保健医療推進連絡会議 子供の心の問題に関する研修会	発達障害児等への支援の充実

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	思春期の心の問題に対応するため、小児科医や臨床心理士等による健康相談を実施します。また、関係機関の連携により、心身の健康に関する正しい知識の普及に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 子どもの心の相談の実施 【対象】 一般県民、市町、教育機関、医療機関、児童相談所、保健所 【方法】 専門相談の実施 【手順】 医師による相談の実施(月1回)、臨床心理士による相談(月1回)	思春期保健対策の強化と健康教育の推進

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	晩婚化や晩産化等に伴い、不妊や不育症等に悩む夫婦が増えている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 特定不妊治療等助成事業 【対象】 住民、医療機関、市町、保健所 【方法】 申請に基づく助成金の支給 【手順】 ホームページやパンフレットで事業の周知を行い、会議等を通して管内の医療機関や市町等と情報共有を図る。	不妊や不育症に悩む夫婦が、必要な治療や相談を受けられるよう制度の情報等を提供する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	医療の進歩に伴って、在宅で生活する医療的ケアが必要な子供が増えているが、地域の中での繋がりが少ない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 長期療養児教室 【対象】 小児慢性特定疾病受診者及び保護者、管内市町、訪問看護ステーション等 【方法】 講演及びグループワーク 【手順】 年2回、対象者へ郵送等により周知し、実施する。	医療的ケアを行いながら、在宅で生活する親子が、知り合う機会と必要な情報等を提供する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	児童虐待の相談件数が増加傾向にあり、またコミュニケーションが苦手といった発達に課題がある子供の支援のニーズが高まっている。虐待予防及び子供の健やかな成長のために、関係機関が連携し、支援に取り組む必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 子供の心の健康づくり事業、ふれあい親子支援事業、母子保健連携調整会議 【対象】 住民、市町職員、児童福祉施設、教育等の担当職員 【方法】 グループワーク、研修、会議 【手順】 各町と共同したグループワークの実施。講演、連携会議、情報交換等を実施	関係機関の担当職員が、子供と養育者について、理解を深め、連携して支援ができるよう研修等の機会を提供する。

事業名

在宅医療(在宅歯科診療を含む)

目標

在宅での療養を希望する患者が住み慣れた地域に必要な医療を受けられるよう、地域における医療や介護の多職種連携を図りながら24時間体制で在宅医療が提供される体制の構築を目指します。

また、それを支える在宅医療に関わる多職種の人材確保・育成に取り組みます。

主な取組

- 在宅医療提供体制の整備
 - 患者を支える多職種連携体制の整備
 - 医療・介護需要の増加に対応するための人材確保・育成
 - 在宅医療に関する情報提供
- 実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、介護関係機関

平成30年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】在宅医療提供体制充実支援事業</p> <p>【対象】一般市民</p> <p>【方法】県の補助を活用し、在宅医療提供体制充実支援事業を推進する。</p> <p>【手順】埼玉慈恵病院に設置してきた熊谷在宅医療支援センターと往診医の登録については、熊谷市に移行したため、必要な支援に努める。また、在宅療養支援ベッドを引き続き輪番により確保する。</p>	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	現在、医師会では在宅医療を推進するために、ICTを利用した情報共有事業を展開している。また、行政等が主催する各種研修会への協力している。登録医や登録患者が増えていない状況を鑑みると在宅医療拠点の事業内容が関係事業者への周知が行き届いていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】在宅医療推進事業</p> <p>【対象】在宅拠点、医師、行政及び介護関係者等</p> <p>【方法】在宅医療拠点事業の周知</p> <p>【手順】広報等による医師会在宅拠点の関係事業者への周知を図る。在宅拠点によるICT窓口によるICT利用の促進を図る。関係事業者を集めて研修会等を開催し在宅医療の問題点等の情報を共有する。</p>	在宅医療拠点事業の展開

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】深谷寄居在宅医療連携室</p> <p>【対象】在宅療養患者とその家族、医療・介護関係者等</p> <p>【方法】コーディネータの配置(相談窓口業務及び情報共有支援等)</p> <p>【手順】医療・介護連携ネットワークの構築</p>	往診医の登録 患者情報の共有 在宅療養支援ベッド確保 MCSの普及と患者登録

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】歯科訪問診療</p> <p>【対象】在宅療養者</p> <p>【方法】訪問診療</p> <p>【手順】受診希望者は熊谷市歯科医師会事務局へ連絡、予備診査の後、かかりつけ歯科医がある場合はそちらで、無い場合には歯科訪問診療推進委員会に対応する。</p>	在宅療養者の口腔の健康の向上を図り、口から食べられる状態を維持し、口腔機能低下(オーラルフレイル)の予防、QOLの向上を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	熊谷総合病院と連携し、良好な関係を築いている。今後は、より幅広い対応のために、連携医療機関を増やし、他職種での連携を進めていく必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 口腔アセスメント 【対象】 入院患者 【方法】 連携病院への訪問 【手順】 歯科訪問診療推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会の委員が連携病院へ訪問、アセスメント表を用いて実施。	入院期間中のオーラルフレイルを防ぐことにより、誤嚥性肺炎等を予防する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 地域包括ケア推進委員会 【対象】 会員及び歯科衛生士 【方法】 年間数回の委員会を実施し、情報交換、検討を行う。 【手順】 必要に応じて合同会議を行う。	委員会を統合し、意見交換を行うことにより、訪問診療をより円滑に行う。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	超高齢化社会が、進むなか、在宅訪問歯科診療の必要性が急速に増えて来ている。歯科医師会として、この状況に対応すべく措置として、在宅推進窓口を開設。歯科衛生士も常駐にて対応し、また他職種連携も行い、様々な領域からの依頼も行えるように、構築している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 在宅歯科診療・訪問診療 受付推進窓口 【対象】 本庄市児玉郡在住の方 【方法】 本庄市児玉郡歯科医師会 在宅推進窓口 にて連絡 【手順】 依頼者は、本庄市児玉郡歯科医師会 在宅推進窓口 に連絡。本会の専属歯科衛生士から 会員の先生連絡し、在宅診療していく手順。	開設3年目。昨年よりも利用者が、増えてきた。口腔アセスメントから、治療に移る患者さんも出て来ており、更なる需要も高めていきたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	口腔アセスメントによって、治療の必要性があるかどうか、確認し説明をおこなう。最近では、治療に移行していくことが多くなってきた。病院や施設の入居者など、自分では、治療の必要性の判断や、治療したくても伝えられない方を積極的にフォローしていくことが、求められるようになってきている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯科口腔アセスメント 【対象】 青木病院(入院患者) 【方法】 毎月 第3木曜日に歯科医師会の先生が出向き 口腔アセスメントを行う。 【手順】 上記の方法、手順により、歯科医師会を通して口腔アセスメントを行い、実際に治療に至っているケースが、確実に増えている。	口腔アセスメントから、治療に移行していくケースが多くなり、必要かつ重要になってきている。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、吉沢病院	
現状・課題等	オーラルフレイルによる介護度のレベルが、一気に上がってしまう問題について、病院レベルで、協力して頂き、口腔機能訓練を開始。自分のお口で、食事することの重要性や、呼吸の仕方(鼻呼吸)で、健康的な状態まで、近づくことが出来ると注目され始めている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 口腔機能トレーニング事業 【対象】 吉沢病院 要介護認定 患者 【方法】 歯科医師会の先生吉沢が病院に行き、口腔トレーニング及び検査値を測る 【手順】 吉沢病院にて、要介護者を中心に口腔トレーニング指導を行う。開始前の検査値と終了後の検査値を歯科医師会が検証。また、実際の生活での効果が出ているのか、病院側からの報告も合わせて検討していく。	高齢化社会に向けて、誤嚥性肺炎などの予防を行い、オーラルフレイル、健康の保持増進、医療費削減を目標とする。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業(拠点施設の設置・衛生士確保・病院アセスメント・多職種連携)を基に在宅歯科医療の充実化を進める。歯科医師会会員のスキルアップを図り、協力歯科医院の増加を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅歯科医療推進事業 【対象】郡市歯科医師会会員・拠点施設衛生士 【方法】定例会にて説明及び協力依頼、勉強会の実施 【手順】チラシによる広報活動	

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業の充実を進める。地域格差の是正。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅歯科医療研修会・疾患別対応スキルアップ研修会 【対象】埼玉県歯科医師会会員 【方法】研修会の開催 【手順】在宅歯科医療について、脳卒中・認知症対策について研修	研修会参加者の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	障害者の口腔状態の把握と職員に対する歯科口腔保健の普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】社会福祉法人「花園」歯科健診 【対象】「花園」入所者・通所者 約100名 【方法】歯科医師会会員の先生10名による歯科健診 【手順】	対象者の口腔状態の向上

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	小規模障害者施設の職員・家族に対する歯科口腔保健の啓蒙	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】障害者等歯科保健医療推進事業 【対象】障害者支援施設職員・家族 【方法】歯科医師会会員が施設に赴き、お口の健康についてのミニ講演会を行う 【手順】い職員家族の歯科口腔保健に対する日ごろの悩みや疑問点に答え	

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療における薬剤師の職能の向上と、地域の医療機関・介護施設との連携の強化を図る。また、在宅医療に資するため、無菌調剤室の共同利用を促進する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療推進、無菌調剤室共同利用 【対象】薬剤師、在宅医療に関わる多職種 【方法】研修会、検討委員会、ワールドカフェ 【手順】在宅医療における薬剤師の職能向上のための研修会を開催する。多職種との連携を図るため、地域ケア会議等への会員薬剤師の派遣、ワールドカフェによる多職種の情報交換会の開催等を行う。無菌調剤室の共同利用促進のための研修会等を開催する。	1. 在宅医療に関する研修会の開催 2. 在宅医療に関わる多職種との連携の構築 3. 無菌調剤室の共同利用の促進

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	郡市内にたくさんの施設が増えている。在宅医療を望む患者もいるが、色々な事情で施設に入所する患者もいる。在宅医療を希望する患者を増やすことも大切	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療提供体制の整備 【対象】会員薬局 【方法】研修会に参加及びすでに整備されている薬局から情報を得る 【手順】在宅医療に関わる薬剤師を増やす	在宅医療に関わる会員を増やす

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	MCS等を用いて多職種連携体制を強化したいまた、MCSに参加する薬剤師を増やしたい	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】多職種連携体制の整備 【対象】医療福祉介護関係者及び家族 【方法】MCSやお薬手帳を活用する 【手順】患者を支える周囲の人たちとコミュニケーションをとる	お薬手帳に患者さんと関わっている人の意見を書いてもらう

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療を希望する患者さんを増やせる様に努力する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療に関する情報提供及び人材確保 育成 【対象】会員薬局・地域住民 【方法】行政及び県薬が作成したリーフレット等を活用する 【手順】在宅医療のメリットを理解し、薬剤師の役割も理解してもらう	在宅医療に関し適切な情報を提供できるように努力する

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関する薬剤師の知識向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療に関する講習会・勉強会を実施します 【対象】薬剤師会会員 【方法】薬剤師会会員の在宅医療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を実施します。 【手順】薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師と在宅医療のかかわりについて地域住民に啓蒙します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】薬剤師と在宅医療について地域住民に伝えため、健康まつり等に参加し、在宅介護相談を実施します。 【対象】地域住民 【方法】健康まつり等に参加し、薬剤師の役割を伝えます。 【手順】健康まつり等で介護相談に対応します。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関わる医療関係者や介護・福祉関係者との連携強化をはかります。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療をすすめるため、他職種連携を図ります。 【対象】深谷市薬剤師会会員 【方法】他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。 【手順】他職種が参加する在宅医療関連研修会に参加します。	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	提供体制の整備においてはハード、ソフト両面において立ち遅れている状況ですので、患者様の声を聞きながら、その需要を把握してそれについてどう対応できるか、今はできないがいつくらいには可能性が出てくるのかという点を引き続き会員同士で研修します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療提供体制の整備 【対象】会員薬局の薬剤師やスタッフ 【方法】薬局が在宅医療に携わることができることを周知する。 【手順】平成29年度に寄居町において地域包括ケアシステム推進会議ができたこの会議において課題となっていることに着目して薬局・薬剤師がどのように関わっていけるか理解して、できることを実践していく。	在宅療養患者の適切な服薬指導の把握、薬剤の管理と服薬指導に努めます。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関わる医療・介護・福祉の関係者間の連携は、関連した研修会に参加する会員が増えてきて、着実に進展しておりそれがもっと多く会員に理解され、連携構築の充実につながるように場かずを重ねることが重要です。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】患者を支える多職種連携体制の整備 【対象】寄居薬剤師会会員 【方法】寄居町や近隣自治体で多職種が集まる研修会を会員に積極的に告知する。 【手順】研修会に参加して福祉や訪問看護、介護らの職種の皆さんと協議をして必要な情報を共有し、連携していく中で、特に薬に関する話題を聞き取り支援できる事があればアピールする。	共助の町づくりネットワーク会議の中で薬に関する困り事などを把握してその解決に取組めます。引続き寄居町社会福祉協議会にパンフレットにおいて必要な方に配布します。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康まつりで来場者にパンフレット配布し、またる寄居町社会福祉協議会にも同じものを置いていただき告知の助けをしていただいています。な当会ホームページ中に専用サイトの作成準備中です。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療に関する情報提供 【対象】地域住民 【方法】独自のパンフレットを作成し配布する。 【手順】平成30年11月11日健康まつりにて来場者に配布します。また寄居薬剤師会のホームページにおいて在宅医療に関する情報を随時掲載します。	11月11日健康まつりに在宅医療に関連したパンフレット300部を配布し告知する。福祉団体等にパンフレットを配布します。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	在宅医療が円滑に展開されるよう、在宅医療にかかわる医療と介護の関係者の連携を図ります。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】在宅医療の専門分野での課題の検討 【対象】行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者 【方法】医療介護の両従事者の連携により事業を推進する 【手順】医療介護の従事者による検討会で、在宅医療に関する課題の抽出を行い、解決方法について検討する。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	在宅医療の関係機関間の情報の共有を支援し、関係職種や住民からの在宅医療に関する相談に対応する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 在宅医療連携拠点 【対象】 行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者、住民 【方法】 在宅医療の推進のための連携拠点の設置運営を地域の病院に委託して実施する。 【手順】	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	多くの高齢者は疾病や要介護状態になっても、出来る限り住み慣れた地域で自分らしい生活をしたいと希望している。本庄市児玉郡医師会を中心とした在宅医療連携拠点事業、本庄市児玉郡歯科医師会を中心とした在宅歯科医療推進窓口地域拠点、医療・介護の各関係機関における役割機能や連携のあり方等を含め調整・検討を行う中で、医療と介護の一体的な提供が可能となるよう、事業を推進していく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進事業 【対象】 在宅医療・介護の両方を必要とする市民およびその家族 【方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護の資源を把握し情報を更新する ・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討のための在宅医療等推進協議会を開催する。(郡市共同開催) ・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築。 ・会議や研修を通して医療・介護関係者の連携の強化を図る。 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援体制を強化する。 ・医療・介護関係者を対象とした研修会の開催。 ・地域住民への普及啓発(広報・HP・講話など) 【手順】 <ul style="list-style-type: none"> ・広報やHP等で周知を図る。 	協議会の開催や研修、講演会の開催をとおして、相談支援体制、連携体制を構築する。

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業を実施しているが、市内の医療関係者や介護職員等の連携を図る機会はまだまだ少なく、課題もみられた。深谷市における在宅医療と介護部門の連携を図るための課題の抽出と対応策の検討が必要となっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進会議 【対象】 医師、歯科医師、薬剤師、包括、ケアマネ協議会、訪問看護、保健所等 【方法】 年4回程度 【手順】 地域の医療・介護関係者が集まる会議を実施し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出と対応策を検討する。	在宅医療・介護連携推進会議開催数

実施機関	美里町	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 障害者歯科相談医制度 【対象】 障害(児)者・要介護高齢者 【方法】 【手順】	障害者歯科主任相談医との連携を図る。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	<p>【現状】 昨年度、本庄市児玉郡医師会と1市3町で検討を重ね、年度末に「本庄児玉郡市における在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定」が締結され、平成30年度より「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」を設置。関係機関及び団体より選出された委員により会議がもたれるとともに、広域での事業実施が予定されている。</p> <p>【課題】 H30年度より開始される試みである為、1市3町の担当が事務局打合せ会議を開催し、摺り合わせを行っている。</p>	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 地域支援事業(在宅医療・介護連携推進事業)</p> <p>【対象】 本庄市児玉郡医師会と本庄市児玉郡の1市3町</p> <p>【方法】 ①「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」について1市3町で共同で執り行う。 ②「在宅医療・介護連携推進事業」の(ア)～(ク)の8項目について1市3町共同で取り組む。</p> <p>【手順】 ①円滑に事業を推進するため、拠点コーディネーターの助言を得ながら、1市3町の担当で打合せ会議を月1回程度開催。 ②「本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進協議会」を年2回開催。市町は協議会委員及び事務局として出席予定。 ③上記①②を踏まえて、8項目の事業を実施する(必要に応じて、事業に合わせたワーキンググループを設置する)。 ④在宅医療連携拠点が主催する郡市内の在宅医療・介護連携に関する多職種連携の研修会等に積極的に参加し、スタッフ間の市町を越えたつながりの構築を推進する。</p>	「在宅医療・介護連携推進事業」の(ア)～(ク)の8項目について実施できたか。

実施機関	神川町	
現状・課題等	在宅医療・介護連携の推進については、本庄市・児玉郡圏域で協定を結び、連携拠点を医師会へ委託により始動、引続きICTネットワーク拡充による関係機関の情報共有・連携作業など段階的に進めるとともに機能強化を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 地域支援事業(在宅医療・介護連携の強化)</p> <p>【対象】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者</p> <p>【方法】 居宅に関する医療・介護の連携を強化する</p> <p>【手順】 情報共有、関係者の資質向上、提供体制安定化、住民へ普及啓発等</p>	市町と医師会が協働して拠点の機能強化を行い、重要事項を整理し課題解決を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	障害者歯科相談医制度について十分に周知されていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 障害者歯科相談医制度周知</p> <p>【対象】 障害(児)者、難病患者等</p> <p>【方法】 広報誌・HP掲載・窓口PR</p> <p>【手順】 相談時に障害者歯科医を紹介</p>	

実施機関	上里町	
現状・課題等	障害者が在宅医療については体制が十分には整備されていない。歯科診療については随時相談を受け、必要に応じて埼玉県障害者歯科相談医制度を紹介している。 障害者の方が治療を受けるために、遠方の病院等をかかりつけとしていることが多い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 埼玉県障害者歯科相談医制度 【対象】 障害者(児)、難病患者 【方法】 周知方法: 広報・ホームページ等 【手順】 ①障害福祉担当へ電話または窓口での相談 ②障害者歯科相談医の紹介 ③受け入れ先がない場合、主任相談医へ連絡し調整してもらう ④主任相談医から紹介された相談医を本人・家族に伝え、予約・受診してもらう	障害児・者が身近な地域の歯科医院でも安心して治療を受けられるようにする。 (利用件数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	在宅医療介護連携推進事業を児玉郡市で取り組むため、30年度より郡市医師会と1市3町とで協議会を立ち上げ、共同で事業に取り組むこととなっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 地域の医療・介護の資源の把握 【対象】 住民・医療・介護関係者 【方法】 在宅医療・介護連携ガイドの更新 【手順】 本庄市児玉郡の在宅医療・介護の資源情報をホームページ等にアップし、住民への情報提供を行う。在宅医療・介護関係職種向けの資源情報についても、1市3町で掲載内容等の検討を行う。	地域の資源を医療・介護関係者と共有する。また、地域住民の医療・介護へのアクセスの向上を図る。
30年度	【事業名】 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 【対象】 医療・介護関係者 【方法】 在宅医療・介護連携推進協議会の開催(年2回) 【手順】 ①市町と在宅医療連携拠点等が連携し、課題の共有と解決策の検討を行なう ②在宅医療・介護連携推進協議会で、課題の共有、意見をいただく ③課題の解決策を具体化するため、課題に応じて専門部会を立ち上げる ④専門部会での検討内容や本事業の進捗状況等について、在宅医療・介護連携推進協議会にて、承認及び評価などを行う。	在宅医療と介護の連携に関する課題やその対応策について承認や評価を行い、在宅医療・介護連携を推進する。
30年度	【事業名】 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 【対象】 医療・介護関係者 【方法】 現状や課題などについて意見交換や検討会議を行う。 【手順】 在宅医療連携拠点を中心に、関係機関で構成した会を開催し在宅医療に係る現状と課題をもとに解決策を協議する。	顔の見える関係づくりを構築する。 連携方法やルールについて検討する。
30年度	【事業名】 医療・介護関係者の情報共有支援 【対象】 医療・介護関係者 【方法】 MCSを活用し、情報共有を図る 【手順】 在宅医療連携拠点を中心に情報共有に必要な関係機関の代表で構成した会議を開催し情報共有に向けた協議を行う。	在宅医療と介護を利用する方の状態に応じて、医療と介護の関係者間で速やかな情報共有が行われる。 (MCS普及率の増加)
30年度	【事業名】 在宅医療・介護連携に関する相談支援 【対象】 住民・医療・介護関係者 【方法】 在宅医療連携拠点による相談支援 【手順】 本庄市児玉郡の地域包括支援センターは在宅医療連携拠点と連携しながら相談支援を行う。	在宅医療の関係者等からの相談に対応し、在宅療養をする住民の支援につなげる。 (相談件数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	在宅医療介護連携推進事業を児玉郡市で取り組むため、30年度より郡市医師会と1市3町とで協議会を立ち上げ、共同で事業に取り組むこととなっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】医療・介護関係者の研修</p> <p>【対象】医療・介護関係者</p> <p>【方法】支援が必要な高齢者を多職種が連携し、地域一体となって支えていくための研修会の実施</p> <p>【手順】医療・介護関係者全般に向けた研修会について計画実施する</p>	研修を通して連携方法を学び、在宅療養をすすめる住民の支援につなげる。
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】地域住民への普及啓発</p> <p>【対象】地域住民</p> <p>【方法】地域住民に在宅医療・介護サービスに関する普及啓発を行う(パンフレットやチラシ、広報、ホームページ、講演会等)</p> <p>【手順】地域住民を対象とし、在宅医療・介護連携等に関する普及啓発の方法を検討し、実施していく。</p>	地域住民の在宅医療や介護についての理解を促進する。
30年度	<p>【事業名】在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携</p> <p>【対象】</p> <p>【方法】上記の項目の円滑実施に向けた会議の開催</p> <p>【手順】在宅医療連携拠点、市町とで本事業の計画及び実施に向けた会議及び進行状況などを確認する連絡会を開催。また、市町の担当課長会議、市町担当者会議などを必要に合わせて開催する。</p>	広域で連携して取り組み、在宅医療介護連携を推進する。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に「地域包括ケアシステム推進会議」を1回開催。行政の把握している地域の現状について情報提供する。 地域課題について意見交換や整理が十分に行えていない。 	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】地域包括ケアシステム推進会議</p> <p>【対象】関係団体15団体から選出された委員</p> <p>【方法】年2回</p> <p>【手順】在宅医療と介護の連携、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制について、地域課題の抽出と対応策の検討を行う。</p>	在宅医療と介護の連携について、関係団体と意見交換し、地域課題に対する対応策について検討する。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	平成29年度に埼玉よりい病院と共催で多職種研修を2回開催。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】多職種研修</p> <p>【対象】地域の医療関係者、介護関係者</p> <p>【方法】連携を主眼としたグループワーク、在宅医療や介護に関する研修会開催</p> <p>【手順】 <ul style="list-style-type: none"> 埼玉よりい病院と企画・運営 地域包括ケアシステム推進会議での意見を参考に企画・運営 </p>	多職種間の相互の理解を深め、医療と介護の連携が促進される。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に深谷寄居医師会が県の補助金を受け、在宅医療連携室を開設。 平成29年度に住民向けの看取りに関する講演会を開催。(深谷市、深谷寄居医師会と共催)。 	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 【事業名】在宅医療連携拠点業務 【対象】全住民、地域の医療関係者・介護関係者 【方法】深谷寄居医師会に業務委託 【手順】 <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療等の相談窓口の設置、周知 ICT(情報共有ツール)の普及啓発、登録手続き等 住民向け講演会の企画、開催 	医療機関や介護事業所等の顔の見える関係づくりを推進し、連携を強化する。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	市町の範囲を超えた二次医療圏単位での医療・介護に係る関係団体・機関の連携の促進	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 【事業名】埼玉県北部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療・介護連携推進専門部会の開催 【対象】医療・介護に係る関係団体・機関 【方法】各々の取組状況について情報交換し、課題を共通認識する。 【手順】会議の開催 	在宅医療・介護連携の推進

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	人工呼吸器等医療機器を使用している難病患者の療養実態の現状把握や地域の医療介護等の関係者との連携のもとに、療養環境整備をすすめていくことが課題である。本年度は、難病対策地域協議会を設置し療養環境整備をすすめる。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 【事業名】在宅難病患者等関係者会議 【対象】在宅難病患者に対する支援を行っている関係職員 【方法】研修及び難病対策地域協議会の開催 【手順】年2回 	

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	在宅療養者の摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供は、低栄養の防止と治療効果を高めるための重要課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 【事業名】摂食や嚥下機能に対応した食支援研修会 【対象】医療・介護保険に関わる専門職 【方法】研修会の開催 【手順】年1回 	

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	在宅医療に携わる専門職の支援体制の充実と研修会を通じて知識・技術の向上を図る必要がある	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 【事業名】管内地域看護連携会議および訪問看護連絡会の実施 【対象】看護管理者、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町等に勤務する看護職 【方法】研修会・情報交換 【手順】会議年2回 訪問看護連絡会 年2回 	地域で療養する人が安心して療養できるよう、在宅医療の推進に向けて看護職の連携体制を構築する

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療が普及・定着し、地域で住民が安心して療養生活を送れるようにするため、病院・診療所だけでなく、歯科診療所や薬局、訪問看護ステーション等の医療関係機関、居宅介護サービス事業所などの福祉・介護関係機関等の多岐にわたる連携体制の構築が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】在宅医療・介護連携推進専門部会の開催 【対象】 【方法】熊谷保健所と共通 【手順】	在宅医療・介護を担う多職種間の連携体制の構築

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療が普及・定着し、地域で住民が安心して療養生活を送れるようにするため、在宅医療・介護の連携を主体となって進める市町や関係機関に対する支援が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】管内市町等の支援 【対象】市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療拠点、在宅歯科医療拠点、地域包括支援センター、介護関係職員等 【方法】管内市町等に対して助言や支援を行うとともに意見交換・情報共有を図る。 【手順】 ・管内市町が共同で開催する在宅医療等推進協議会に参加し、助言・支援、意見交換・情報共有を図る。 ・管内市町等が在宅医療・連携体制の構築のために実施する会議・研修等に参加し、助言・支援、意見交換・情報共有を図る。	在宅医療・介護を担う多職種間の連携体制の構築

事業名 精神疾患医療

目標 心の健康づくりのための正しい知識の普及と新しい情報の提供を広報や研修会、イベントなどを通じて行います。精神疾患や認知症についての正しい知識の普及啓発を進め、精神障害者や認知症の方も住みやすい地域を目指し、地域住民の理解の促進を図ります。また、地域移行支援については、長期入院精神障害者に対してピアサポートを活用した退院支援を進めるとともに、退院後の継続した支援も含め関係機関と連携した地域づくりを推進します。

主な取組

- 心の健康づくりに関する普及啓発と相談支援体制の充実
- 認知症対策の推進
- 地域移行支援(精神科病院の長期入院者の退院)の推進

実施主体:保健所、市町、医師会、医療機関、福祉関係機関

平成30年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 もの忘れ検診の実施 【対象】 平成30年度中に70歳となる市民 【方法】 熊谷市に協力し、引き続きもの忘れ検診を実施する。実施医療機関を調整し、一般検診に66医療機関、精検に15医療機関が参加する体制を構築する。 【手順】	

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 市民健康フォーラムなどにおける健康相談 【対象】 一般市民 【方法】 10月21日(日)に実施予定の第17回市民健康フォーラムにおいて、健康相談窓口を開設し、市民に指導、啓発を行う。 【手順】	

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会 皆光園	
現状・課題等	認知症に対する理解を深め、精神症状や問題行動に対して、地域ケア体制の整備を進める。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 認知症対象スキルアップ研修会 【対象】 埼玉県歯科医師会会員 【方法】 研修会の開催 【手順】	研修会参加者の増加

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民一人ひとりがかけがえのない命の大切さを考え、ともに支え合う地域社会実現のため、自殺対策を総合的に推進する。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 自殺対策計画の策定 【対象】 市民 【方法】 市計画策定に向けて、県の計画や熊谷市の現状を把握する。そのうえで基本項目を定め、目標達成のための施策の推進を図る。 【手順】	年度末までに計画が策定できる。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	心の健康づくりに関する普及啓発に努めるとともに、心の健康に関する相談体制の充実を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 精神保健相談 【対象】 市民 【方法】 市民から心の健康問題に対して、保健師が必要な指導・助言を行う。 【手順】 【事業名】 こころの健康相談 【対象】 心の健康問題が生じた本人や家族、関係者(治療中の方を除く) 【方法】 臨床心理士による相談 【手順】 月2回 予約制	相談者数 2,770人 相談者数 48人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	インターネットで手軽にストレス度などを表示するシステム「こころの体温計」の利用について、広く周知します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 こころの体温計 【対象】 市民 【方法】 インターネットを利用してストレス度をチェックし、相談機関が案内表示されるシステムを運用している。 【手順】	アクセス件数 18,900件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	精神障がいのある方が、社会復帰施設等と連携しながら地域で暮らすことを支援していきます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 社会復帰支援 【対象】 社会復帰施設を利用している精神障がい者 【方法】 意向調査を行い、希望する施設に保健師・管理栄養士が出向き、健康面・栄養面等のテーマで健康教育を行う。 【手順】	参加者数 225人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	心の健康づくりのための正しい知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 精神保健健康教育 【対象】 市民、民生委員児童委員 【方法】 市民からの依頼や民生委員児童委員協議会の会議の場を利用して保健師による講話を行う。 【手順】	参加者数 425人

実施機関	キャラバン・メイト、熊谷市	
現状・課題等	認知症サポーター養成講座を64回開催、2,365人受講。(認知症サポーター総数18,421人)うち、小中学校16校開催。認知症サポーターステップアップ講座を1回開催、38人受講。(H29年度現在)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 市内在住、在勤の方 【方法】 キャラバン・メイトから講師を派遣し、認知症サポーター養成講座を開催する事により、参加者に認知症に対する正しい理解の普及・促進を図る。また、更に認知症への理解を深めるため、認知症サポーターステップアップ講座を開催する。 【手順】	市内の全小中学校を対象に認知症養成講座を開催する(平成32年度末までに)。認知症サポーターステップアップ講座を開催する。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市内の事業所、各庁舎内に介護マークを設置。また、市民への貸し出しを行っています。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 サポーター・タグ普及事業 【対象】 市内の事業所及び市民 【方法】 当事業の趣旨に賛同し、認知症サポーター養成講座を受講された事業所に対し、介護マーク(サポーター・タグ)を設置する。また、認知症高齢者等を介護している方に介護マークを貸し出し、周囲に介護中であることをさりげなく知ってもらうことで、介護者の心理的負担の軽減を図る。 【手順】	より多くの事業所に設置してもらい、認知症の方や介護する方が外出しやすい環境を作る。

実施機関	認知症地域支援推進員、熊谷市	
現状・課題等	熊谷市役所内で毎月第4木曜日に認知症相談窓口を設置	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 認知症介護相談 【対象】 市民 【方法】 市役所内に認知症に関する相談窓口を設置し、認知症地域支援推進員が相談員として対応する。HPや市報を通してPRしていく。 【手順】	認知症に対する相談窓口の普及を図る。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	認知症の早期発見のため、認知症簡易チェックサイトを設置し利用を啓発します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 認知症初期スクリーニングシステム 【対象】 市民 【方法】 携帯やパソコンからアクセスし、認知症の状態をチェックし、相談先の案内を掲載している。 【手順】	アクセス数10,000件

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努めます。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 もの忘れ検診 【対象】 昭和23年4月2日～昭和24年4月1日生まれ(70歳)の市民の方 【方法】 市内66医療機関にて個別検診 【手順】 実施期間:6月～3月。対象者に受診券を送付。	受診率20%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	長期入院精神障害者の地域生活への移行を進めるために地域移行支援サービスの利用を推進します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 地域移行支援サービス費の支給 【対象】 精神科病院の長期入院者 【方法】 相談を受け聞き取り調査を実施し、地域移行支援の支給決定を行う。 【手順】	月平均利用者数 3人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	社会環境の変化や価値観の多様化に伴い、「うつ」への対応をはじめとする、心の健康づくりを推進していくことが求められている。また、本市における自殺者数は、年度によるバラつきがあるものの、大切な命が失われており、悩みを持つ人に早い段階で気づき、適切な支援に繋げることを目的にゲートキーパー養成に取り組んでいる。また、命の大切さや思いやりの心を育成できるように、コミュニケーション講座を実施する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 自殺対策緊急強化事業 【対象】 市民・小学5年生・市職員 【方法】 市職員を対象とした自殺対策、予防に関するゲートキーパー養成研修を行う。市民向けに、自殺の一因となりえるメンタルヘルス悪化の予防を図るため、また、小学校5年生とその保護者を対象に、命の大切さや思いやりのこころを育成できるようにコミュニケーション講座を開催する。 【手順】 広報等での周知をはかるとともにHPの見直しを行う。専門講師を招いてゲートキーパー養成講座及び心の健康づくり講座を実施する。	ゲートキーパーの増員や市民への啓発により、悩みを抱える人に対する「気配り・気づき・声かけ・傾聴・つなぐ・見守る」を実践し、自殺抑制につなげる。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	精神的不安、対人関係、性格、お酒、閉じこもり、その他家族・職場等での悩み、医療などについての相談を受け、精神疾患や精神的不健康の状態に適切に対応できるよう支援する。利用実人数は年間10~20人程度で本人からの相談より対応に困っている家族からの相談が多い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 こころの健康に問題が生じたかたやその家族 【方法】 精神科医師、保健師による相談(要予約) 【手順】	必要としている人が、相談に結ぶつくよう事業の周知を図る。

実施機関	深谷市(保健センター ※熊谷保健所、熊谷市、寄居町共催)	
現状・課題等	精神疾患を抱える家族を対象とした家族教室や地域住民に対する精神疾患の講座及び講演会を実施し、当事者や家族が安心した暮らしができるよう支援することを目的とし実施している。(平成28年度から実施)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 精神保健福祉講座 【対象】 熊谷保健所管内の住民 【方法】 医師による講話等 【手順】	参加者数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自殺の要因は多岐にわたっており、社会的な問題であると捉え、様々な分野でのゲートキーパーの養成を図り、また自殺予防についての啓発を強化することが必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ゲートキーパー養成講座、自殺予防パネル展示 【対象】 市民、ゲートキーパー養成講座:介護関係職員(予定) 【方法】 ゲートキーパー養成講座:外部講師 【手順】 パネル展示:保健センターホール、市役所市民ホール等	・ゲートキーパー養成人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	ストレス社会といわれる現在、心の健康に問題を抱える人が増加しており、心の健康づくりや対応についての正しい知識の普及・啓発が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」、講演会 【対象】市民 【方法】<「こころの体温計」の周知を図る。(広報、市ホームページ、メール配信、母子健康手帳交付時、新生児訪問等の母子保健事業等、各種健康教育等でのチラシ配付等) <講演会>こころの健康をテーマに開催(ポピュレーション)	・「こころの体温計」アクセス数 ・講演会参加人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自殺対策計画を策定し、行政、市民、関係機関が協働して自殺対策に取り組む必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】深谷市自殺対策計画策定 【対象】市民 【方法】国県計画、計画策定マニュアル、自殺対策プロフィールをもとに計画を策定する。	自殺対策計画策定

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	高齢化に伴い認知症のかたが増加しているが、地域の中では認知症の理解が広がっていない	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】認知症サポーター養成講座 【対象】団体名：深谷市 講義形式(60分～90分の講座) 【方法】全国キャラバンメイト協議連絡協議会会員に講師を依頼 【手順】深谷市まごころ出張講座のメニューに登録し、幅広い市民のかたを対象に認知症サポーター養成講座を実施する。	認知症サポーター養成講座受講者数

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	認知症の人とその家族や地域住民、専門職がつながり、集うことで、認知症の人への理解の啓	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】認知症カフェ 【対象】認知症のかたやその家族、認知症に関心のあるかたや以前に介護経験のあるかた 【方法】体操(体、口腔)、歌、ミニ講座、話し合い、介護相談、リラクゼーションケア等 【手順】参加希望の認知症カフェに直接来所	市内の認知症カフェ実施箇所数

実施機関	美里町住民福祉健康課住民福祉係	
現状・課題等	自殺者数は減少傾向にあるものの、今後においても引き続き、適切な自殺対策を図る必要がある	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】美里町自殺対策推進検討委員会の設置および会議の開催 【対象】庁内関係部署職員で構成する委員会の設置 【方法】委員会設置要綱の制定および会議の開催 【手順】	早期発見、関係機関への連携強化

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	複数の職種が入ることで、色々な視点でケースを見ることができる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ケース検討会議 【対象】 【方法】 保健所、障害者生活支援センター職員、町障害者担当、町保健センター、町社会福祉協議会臨床心理士で年6回、各担当ケースについて検討する。 【手順】	情報の共有 担当職員の負担の軽減

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	個別相談も設けているが、利用者がいない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 健康まつり 心の健康づくりコーナー 【対象】 来場者 【方法】 メンタルチェックカードの配布、相談窓口が記載されているチラシの配布 【手順】	心の悩みを持つ人たちへの相談窓口の周知を図る

実施機関	美里町社会福祉協議会	
現状・課題等	町の相談窓口として、より気軽に利用していただき、問題の早期介入・予防に努めたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 臨床心理士による「心の相談窓口」 【対象】 町民 【方法】 広報・パンフレット 【手順】 原則、週1日の相談窓口と必要に応じて要援護者宅への家庭訪問	不安を抱える人々の心の健康維持

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症サポーター養成講座の継続により、さらなる住民への周知を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 町民・団体・企業など 【方法】 広報・パンフレット等で募集。認知症の正しい理解と、認知症の人とその家族を温かく見守る人材の養成。 【手順】 キャラバンメイトによる認知症に関する基本的な学習講座	サポーター一年100人の養成と認知症についての理解を更に深める事業の開催

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の人を介護する家族の交流の場の継続支援を行う。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 認知症高齢者等介護家族のつどい 【対象】 在宅で認知症高齢者の方を介護されている家族 【方法】 認知症の方を身近で支える介護者相互の交流の場づくりを支援。介護家族の悩みなどを話すことで身体的・精神的負担の軽減を図る。 【手順】 広報・チラシ等で事業実施の周知を行う。アドバイザーを招き、日頃の悩みに助言を頂く。参加者同士の意見交換や交流の場・息抜きの場としてもらう。	介護家族の方の精神的負担の軽減と情報交換が行える

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の早期発見を目的として実施。すでに認知症を発症している方の相談や認知症について情報を知りたい方の相談も増えている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 脳の元気度チェック&相談会</p> <p>【対象】 町内在住の認知症の心配がある方または家族</p> <p>【方法】 毎週火曜日(祝日は除く)、午前9時30分～午前11時30分。個別相談(予約制)。簡単なアセスメントを行い、認知症の可能性を評価する。相談内容に応じた生活支援の助言を行う。認知症の早期発見と家族への支援を目的とする。</p> <p>【手順】 広報及びくらしのカレンダーやチラシにて周知。</p> <p>予約制で個別に相談を受ける。生活上の助言を行うとともに、必要に応じて専門医療機関の紹介や制度の利用につなげる。</p>	認知症の早期発見及び相談の場として町民にさらに周知し、気軽に利用できるよう促していく

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	現在、認知症初期集中支援チームは稼働していない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 認知症初期集中支援事業</p> <p>40歳以上で在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下の1または2のいずれかの基準に該当する者</p> <p>1 医療サービス、介護サービスを受けていない者、又は中断している者で以下のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 認知症疾患の臨床診断を受けていない者</p> <p>(2) 継続的な医療サービスを受けていない者</p> <p>(3) 適切な介護保険サービスに結び付いていない者</p> <p>(4) 介護サービスが中断している者</p> <p>2 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者</p> <p>【方法】 相談に応じて、初期集中支援チームの個別訪問を行い、サポート医による診断を踏まえた観察・評価により認知症初期の本人・家族の支援を集中的に行う。</p> <p>【手順】 相談受付後、「認知症書記集中支援チーム事業フロー図」に従い、支援を行う。</p>	認知症の早期発見ツールとして町民に周知徹底し、理解(及び利用)を促していく

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	徘徊高齢者の見守り支援機能を強化する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 見守りシール、キーホルダー交付事業</p> <p>【対象】 町内在住高齢者で認知症等見守りが必要な方</p> <p>【方法】 申請に基づき、希望者に見守りシール及びキーホルダーを交付する。</p> <p>【手順】 広報等で周知を行い、希望者の申請に基づき、見守りシール及びキーホルダーを交付する。見守りシール及びキーホルダーに附番することで、徘徊先で身元が特定できない場合に、番号から身元が特定。併せてご家族に連絡。</p>	見守りシール、キーホルダーを作成し、見守り支援体制を整える。

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症疾患を持つ方が、5割以上を占め、要介護度も軽度の方が多い。そのような状況において、認知症に関する相談も多く、徘徊による行方不明になるケースも見られ、正しい知識の普及が重要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 認知症サポーター養成講座</p> <p>【対象】 小学生～中学生・一般成人</p> <p>【方法】 キャラバンメイトによる講習</p> <p>【手順】 ①小学生～中学生</p> <p>・包括支援センターが各学校の授業にてサポーター養成講座を開催。</p> <p>②一般成人(高校生以上)</p> <p>・広報紙等で呼びかけサポーター養成講座を開催。</p>	認知症患者の正しい知識の習得者の増員、および地域支援者の拡大

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症の疑いのある方が、5割以上を占める。そのような状況において、認知症になっても住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活ができる受け皿の1つとして展開する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 認知症カフェ(なっちゃんカフェ) 【対象】 認知症の方、介護者、その他なたでも参加可能。 【方法】 認知症応援隊の協力を仰いで実施。 【手順】 ・おやつ作りやレクリエーション等を通しての交流を行う。 ・毎月第1水曜日午前10時30分から開始 ・送迎無料 ・参加費 100円	昨年度来、町民の関心が強い分野と確認でき、更なる充実を目指す。

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護を抱える、またこれからの将来に不安を抱く介護者や地域住民からの問い合わせや相談が増え、その受け皿の1つとして創設。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 認知症家族のつどい 【対象】 介護者、または認知症に関心のあるかた 【方法】 同じ悩みや体験を話し合える場 【手順】 2カ月に1回実施。広報・ポスター等で呼びかける	不安を抱える介護者の気持ちや実生活をフォローする枠組みとしてまずは町民への働きかけを強化。

実施機関	神川町	
現状・課題等	精神障害者とともに暮らす家族の負担は長期にわたり、将来に対する不安など、家族同士が共有する問題も多くあると思われ家族を支援する体制が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 家族会 【対象】 精神疾患の家族 【方法】 家族が集まり情報交換及び勉強会 【手順】 2ヶ月に1回実施。福祉課窓口で対象者へチラシを配布し参加者を募る。	参加者を増やす

実施機関	神川町	
現状・課題等	当町は県内でも自殺による死亡率が高く、県内平均をはるかに上回っている。また、自殺の原因の約70%は健康問題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 自殺対策緊急強化事業 【対象】 ・商工会会員・議会議員・小中学校養護教諭 【方法】 専門講師を招いてのゲートキーパー養成講座の開催。 【手順】 専門講師による講話。パンフレット配布。	地域での見守り体制を整えるため、早期対応の役割を担う人材育成を図る。

実施機関	神川町	
現状・課題等	こころの相談窓口の周知及び支援体制を整える。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 地域住民 【方法】 広報・ホームページ等により相談窓口の周知。保健師等による相談。 【手順】 広報・ホームページ等に相談窓口の掲載	

実施機関	上里町	
現状・課題等	自殺に関する正しい知識を普及し、その知識を基に家族だけではなく地域の身近な人も見守れる人材を増やす必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 埼玉県自殺対策緊急強化交付金事業(ゲートキーパー養成講座) 【対象】 町内で活動されている民生委員、学校教職員等 【方法】 ゲートキーパー養成講座 【手順】 自殺対策についての知識や対応方法を学ぶ講座とする。講座で学んだ知識を、地域で活動する中で活用してもらう。	地域で活動している方々が、自殺に関する相談の初期対応を学び、理解する機会を設けることで、身近な人を見守れる人材を増やす。 (講座参加人数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	自分の心の状態を知る簡易チェックシステムとして、こころの体温計をホームページに掲載。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 こころの体温計 【対象】 町民及び町民以外 【方法】 上里町のホームページに簡易メンタルヘルスチェックシステムを掲載することにより、自身のストレス度合等を確認する機会をつくる。 【手順】 周知方法: 広報掲載やチラシの配布等	上里町のホームページを見た人が自身の心の状態を知り、悩みや問題に気づくことで心の病気の予防につなげる。 (アクセス件数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	医療と介護、保健、障害福祉の関係部署と連携し、地域の見守りといった多岐にわたる総合的な支援体制の構築を図っている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 認知症サポーター等養成事業 【対象】 町民、民間企業、学生等 【方法】 認知症サポーター養成講座の実施 【手順】 認知症についての知識や、接し方を学ぶ講座とし、講座で学んだ事を地域での活動や、日常生活の中で認知症の方と接するときに活用していただく。	養成講座を受け、認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する人を増やす。 (養成講座受講者数)
30年度	【事業名】 認知症初期集中支援推進事業 【対象】 原則として40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療や介護サービスに結びついていない方 【方法】 対象者を把握し、医師、保健師、社会福祉士からなるチームで3~6か月間支援し、医療や介護サービスにつなげる。 【手順】 認知症の人やその家族に早期診断、早期対応に向けた支援を実施する。支援チームの活動状況を検討する検討委員会を設置する。	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる。 (事業利用者の増加)
30年度	【事業名】 認知症カフェ 【対象】 認知症の疑いのある方、認知症の方やその家族、地域の方等 【方法】 認知症カフェを実施 【手順】 毎月第2火曜日にイオンタウン上里のフードコート内で実施。認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集い、おしゃべりやレクリエーションを通して、認知症の人を支えるつながりを支援し、家族の負担軽減を図る。	認知症の人の家族の介護負担を軽減する。 (参加人数)
30年度	【事業名】 認知症ほっと相談 【対象】 認知症介護のことで悩んでいる方 【方法】 認知症相談の実施 【手順】 町内6ヶ所の認知症グループホームで、相談窓口を設置。認知症介護のことを相談できるよう、グループホームと連携しながら認知症の相談体制の充実を図る。	認知症介護のことで悩んでいる方の負担軽減。 (相談件数)
30年度	【事業名】 認知症相談日 【対象】 認知症介護のことで悩んでいる方 【方法】 認知症相談を実施する 【手順】 毎週木曜日に認知症相談日を設け、認知症に関する相談を受ける(要予約)。町のカレンダーに記載し、周知を行う。	認知症介護のことで悩んでいる方の負担軽減。 (相談件数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	医療と介護、保健、障害福祉の関係部署と連携し、地域の見守りといった多岐にわたる総合的な支援体制の構築を図っている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 認知症ケアパスの作成</p> <p>【対象】 町民及び町民以外</p> <p>【方法】 認知症安心ガイドブックの作成、配布</p> <p>【手順】 認知症の進行状況に合わせて提供される医療や介護サービスの標準的な流れを示すガイドブックを作成し、窓口を設置。認知症相談やケアマネジャーに配布する。</p>	認知症ケアパスの配布・活用
30年度	<p>【事業名】 徘徊高齢者家族支援サービス</p> <p>【対象】 要介護又は要支援の認定を受けた認知症高齢者で、徘徊症状が見られる人を在宅で介護している家族等</p> <p>【方法】 GPS機器の貸し出し</p> <p>【手順】 GPSを活用して、介護している家族等からの依頼に基づき、徘徊行動で所在不明になった高齢者を発見し、家族等へ現在位置を知らせる。</p>	介護している家族等の負担軽減
30年度	<p>【事業名】 高齢者見守りキーホルダー</p> <p>【対象】 高齢者の方で単身世帯、高齢者のみの世帯、日中独居の方、認知症及び認知症の疑いがある方、急な発作の恐れあるいは身体上の慢性疾患等により日常生活上注意を要する状態にあると認められた方</p> <p>【方法】 見守りキーホルダーを交付する</p> <p>【手順】 申請に基づき町が情報を登録する。申請者には、町から無償で登録番号を記載したキーホルダーを交付する。認知症及び認知症の疑いがある方は同時にナンバーシールも交付する。事前に緊急連絡先や医療情報等を町に登録しておくことで、外出先での緊急搬送時や保護された際に、医療機関や警察の紹介に対して、迅速に情報提供ができる。</p>	対象となる方に普及させ、町が緊急時に対応する(登録者数の増加)
30年度	<p>【事業名】 高齢者見守りネットワーク事業</p> <p>【対象】 町民及び町民以外</p> <p>【方法】 郵便局、町内の商店、水道会社等と見守り協定を結ぶ 事業者は高齢者の異変を察知したら町に連絡を入れる</p> <p>【手順】 事業者からの申請を基に、町が見守り協力事業者として登録し、協力事業者と見守り協定を締結する。</p>	見守り活動を周知して、地域住民、民間事業者、専門機関など見守りの目を増やす(登録事業者数、周知先の増加)

実施機関	寄居町	
現状・課題等	精神科医療機関は庁内1か所。身近な相談機関が少ない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 心の健康づくりに関する普及啓発事業</p> <p>【対象】 全住民</p> <p>【方法】 広報等掲載・心の健康相談の実施・ゲートキーパー養成講座の実施</p> <p>【手順】 保健所・埼玉県精神福祉総合センターの協力をいただき、民生委員職員等を対象にゲートキーパー養成講座を実施する。</p>	ゲートキーパー養成講座の開催

実施機関	保健所・寄居町・医療機関・福祉関係機関	
現状・課題等	精神疾患を抱える本人またその家族は、様々な問題を抱えていることが多く、退院し地域での生活を再開するには支援が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 地域移行支援推進事業</p> <p>【対象】 精神科に長期入院している患者とその家族</p> <p>【方法】</p> <p>【手順】 地域住民に対して相談機関の周知や、関係機関と情報共有・支援方法の検討を行い、適切な支援を提供する。</p>	相談機関の周知関係機関との情報共有適切な支援の提供

実施機関	寄居町	
現状・課題等	認知症高齢者が増加し、認知症になっても可能な限り住み慣れた地域で生活できるような地域の支援・相談体制が必要。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 認知症知識の普及・啓発、相談支援体制の充実 【対象】 全住民、地域の医療・介護関係者 【方法】 【手順】 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症地域支援推進員による啓発活動、講座の開催 ・認知症初期集中支援チームによる相談支援 	認知症の人やその家族が地域で生活できるような支援・相談体制をつくる。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	精神疾患に対する知識と理解を深めるために普及啓発をおこなう必要がある	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 精神保健福祉講座 【対象】 一般県民、関係者、当事者、家族等 【方法】 講座の開催 【手順】 管内市町と共催 市報、チラシ等で周知	心の健康づくりに関する普及啓発と相談支援体制の充実

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	発見が遅れがちな認知症について、家族や関係者が早期に気づき受診と制度の利用等につながることで、本人も家族も的確な対応ができる。支援者の知識・技術の向上を図る必要もある。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 精神保健在宅療養支援者研修 【対象】 管内の在宅療養支援者等 【方法】 事例検討を中心とした研修会の開催 【手順】 年1回。包括支援センター会議にて開催と事例提供の周知。	関係者の認知症に関する理解とタイムリーな対応ができる

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	様々な事情で退院できない長期入院精神障害者へ関係機関が連携して支援体制を構築する必要がある。措置入院者の退院後の定期的フォローについても体制整備を図る必要がある。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 埼玉県精神障害者地域移行支援事業 【対象】 医療機関、支援事業所、訪問看護、介護事業所、行政機関、家族会等 【方法】 精神障害者地域支援体制構築のに向けた会議の開催 【手順】 関係者会議の開催 措置入院退院者へのフォロー体制充実	地域移行支援(精神科病院の長期入院者の退院)の推進

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	不登校の者が学校を卒業したのちに社会でひきこもりへと移行することが考えられる。そこで本人のライフサイクルに合わせ重症的に支援していく	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 ひきこもり対策事業 【対象】 不登校・ひきこもりに関わる関係機関等 【方法】 知識技術伝達の研修会と情報共有を図るための連絡会 【手順】 関係機関に周知し研修会等を実施 【計画】 講演:平成30年5月 会場:早稲田リサーチ 講師:本庄保健所ひきこもり専門相談嘱託心理職 小笠原美江CP	ひきこもりのある者の理解と支援についての正しい知識や新しい情報を提供する。

実施機関	保健所	
現状・課題等	主に統合失調症で治療を継続している者の家族が集い、友愛の心で共感し、お互いに学びあう関係の中でその個人と家族会が成長し、支えあえる自助の関係構築ができるよう支援する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 家族による家族学習会 【対象】 おもに統合失調症を治療している者のいる家族 【方法】 同じ境遇の者同士で行う学習会と集う話し合いのできる場の設定 【手順】 定例の家族同士の交流会の設定と同じ境遇同士で学びあう学習会の実施 【計画】 研修会:7月～11月まで毎月1回「家族による可読の家族学習会」 講師:研修のために事前学習を終えた家族 会場:アスピア児玉	こうしをつとめるかぞくが こうざをつじ自信を深め 受講する家族は先輩家族から知識や対応のコツを学ぶとともに勇気をも学び取り家族が元気になり家族会が活性化される。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	うつ病などの疾患により生活不安や複雑化する社会に生きにくさを感じるかななどに対し気持ちを和らげ新しい気付きをもたらす学習会	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 精神保健に関する学習会 【対象】 一般住民や管内在勤者等 【方法】 研修会(講演会) 【手順】 本庄市との共催で広く広報する 【計画】 平成30年10月埼玉医科大学助教授をお招きし研修会を実施 会場:早稲田リサーチ	疾病に特化せず地域メンタルヘルスの向上を目指し聴講者を多くする。

事業名	健康増進・生活習慣病等予防対策
目標	地域住民、関係団体、行政機関が連携し、市町健康増進(食育推進も含む)計画をPDCAサイクルに基づき実施や評価をし、健康づくり体制を推進します。 健康な生活習慣の情報提供や効果的な保健事業、特定健診・特定保健指導等の未受診者への対策等を推進します。 また、健全な口腔機能を生涯にわたり維持できるよう、定期的な歯科健診の受診勧奨や歯科口腔保健施策を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備 ■生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨 ■歯科口腔保健の推進 実施主体:市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所

平成30年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 特定健診及び各種検診の実施、市民健康フォーラムの実施 【対象】 一般市民 【方法】 特定健診、各種検診の円滑な実施に努めるとともに、市民健康フォーラムなどにより、市民への啓発活動を行う。 【手順】	
実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	特定健診は、健診センターが設立され、受診機会が大幅に増えたが受診率は思ったより伸びていません。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 特定健診受診率の向上 【対象】 医師会、医療機関、行政 【方法】 特定健診受診率向上の各種施策の検討 【手順】 利用者目線による健診方法等の更なる検討を行う。 医療機関による個別健診時期の前倒しの検討を行う。 利用促進のため健診センターを広報等による周知する。 その他、保険者による糖尿病等重症化予防対策への協力。	特定健診受診率を平成29年度より向上させる。
実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 深谷寄居医師会広報誌 【対象】 会員医療機関受診者・来所者 【方法】 「イキイキふかや・よりの」の配置 【手順】 会員診療所窓口等に設置	年2回発行 地域住民向け医療情報広報
実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 特定健康診断 【対象】 被保険者、被扶養者等 【方法】 特定健診で指導対象者に特定保健指導を行う。 【手順】 通年	随時、特定健康診断を行い、受診率アップを図る

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	歯の相談室。29年度は参加幼児、児童数406名+家族。参加者は増加している。「8020良い歯のコンクール」受賞者35名。8020達成者は年々増加している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 第41回「歯の相談室」、8020よい歯のコンクール 【対象】 熊谷市及び近隣市町村の住民 【方法】 イベントを開催 【手順】	イベントを通じて、口腔の健康の意義を啓発する。8020達成者は増加。今後は質が問われるため、対応を考えていきたい。

実施機関	熊谷市、(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	周知の徹底と受診手続きの簡素化を図ったところ、引き続き受診率UPしている。今後は妊産婦健診等にも広げていきたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 市内に住所を有し、対象年齢に達する方 【方法】 歯科医療機関での健診 【手順】 該当者にはがきを送付。希望者には受診票を送付し、各診療室に持参。 各歯科医療機関で実施	定期的な健診を継続していくことで、口腔の健康を維持していく。更に、受診率UPを期待したい。

実施機関	熊谷市、熊谷保健所等、(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 熊谷保健所管内歯科保健推進会議、地域保健医療協議会、 【対象】 北部保健医療圏地域保健医療協議会、介護認定審査会等 【方法】 各種会議への参加 【手順】 会議	行政機関、関係団体との会議に出席し、意見交換を行い、情報の共有化を図る。

実施機関	JA ひびきの 本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	乳幼児の口腔周囲筋の低下により、歯列不正、正しい呼吸および嚥下ができない問題が起こっている。また、虫歯予防の為に、フッ化物を利用した予防法について正しい理解をして頂くことを目標とする	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 赤ちゃんから始める お口の中から健康づくり 【対象】 乳幼児を含む親子 【方法】 JAひびきの主催による歯科口腔講習会 【手順】 乳幼児を含む親子を対象に、口腔育成や、フッ化物によるウ蝕予防について、講演および、体験実習も兼ねて理解してもらう。	乳幼児期の口腔育成、虫歯予防の大切さが生涯のなかで最も重要な時期であると周知してもらう。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 ・本庄市	
現状・課題等	本庄市における、幼児のウ蝕率は、まだ低いとはいえない。幼児期から、歯科健診と予防を強化し、この時期から、かかりつけ医を見つけて生涯にわたり、管理していくことが最も重要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 3歳児半、4歳児 個別歯科健診 【対象】 本庄市在住の3歳児半、4歳児 【方法】 本庄市児玉郡歯科医師会の登録歯科医院における個別歯科健診(フッ化物歯面塗布も含む) 【手順】 本庄保健センターより、対象者に通知をおこない、事前に問診票を記載して頂き、個別歯科健診およびフッ化物塗布をおこなう。結果は、母子手帳にて。	幼児期からのかかりつけ歯科医をみつけて頂くことを目標とする。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会(本庄市 上里町 神川町 美里町)	
現状・課題等	少子化が進む社会において、妊娠中からお母さんの口腔状態も良くすることは、とても重要なことである。出産前からお母さん、子供の健康を守る為、妊婦歯科健診の需要が必出である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】妊婦歯科健診 【対象】本庄市 上里町 神川町 美里町在住の妊婦 【方法】対象者に保健センターより通知。本庄市児玉郡歯科医師会の個別歯科健診 【手順】対象者に配布されている、問診、健診票を記載、提出。個別歯科健診後に母子手帳にて、結果を記載。	今年より、本庄市児玉郡全域に渡って健診出来るようになった。周知して頂きたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市・上里町・神川町・美里町	
現状・課題等	歯の喪失原因 第1位の歯周病。成人の8割以上が、罹患している。生活習慣病にも大きく関与。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】歯周疾患検診 【対象】本庄市児玉郡市内に在住の30、40～80歳までの節目年齢の方 【方法】各市町から広報等で周知して頂き、歯科医師会指定の個別歯科健診 【手順】各市町保健センターから、各歯科医院に送られている、歯科健診票に従って施行、結果についてもその場で、判定し今後の受診の進めや指導を行う。	全身と歯周病についての理解と、受診率のさらなるUPと健康の保持増進に努めていきたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会・上里町 衛生士会、葵学園、多企業 他	
現状・課題等	毎年恒例の行事となっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】上里ふれあい祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式 【対象】地域住民 【方法】オーラルヘルスプロモーション、8020表彰式 【手順】歯ブラシ指導、フッ化物洗口体験、ウ蝕活動試験 口腔機能検査など	歯科医師会の活動における住民への周知と、歯と健康における関心の更なる向上を目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 神川町	
現状・課題等	平成28年度より新しい事業として発足。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】神川コスモス祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式 【対象】地域住民 および 8020運動よい歯のコンクール表彰者 【方法】オーラルヘルスプロモーション 8020表彰式 【手順】歯科医師会のブースを設け、住民の皆様にご診査、体験、見学をしてもらい関心を持って頂く。また、8020表彰式も同時に行い、周知して頂く。	8020表彰に加え、歯科医師会コーナーを設け、住民の皆さんと触れ合いを目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会・本庄市	
現状・課題等	8020運動表彰式は、毎年恒例となっており、目標として頂ける活動の一つとして周知されている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】本庄市8020 よい歯のコンクール表彰式 【対象】80歳以上で20本以上ある方(住民票が本庄市にある方) 【方法】8020歯科健診 【手順】歯科医師会推薦の方を対象者とし、毎年 交互に本庄会場、児玉会場 8020表彰を行う。	後期高齢者の健康の保持増進させる為の大きな目標にして頂きたい。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 美里町	
現状・課題等	美里町 健康まつり および 講演会	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】美里町 健康まつり 8020表彰式 歯科講演会 【対象】美里町住民 【方法】オーラルヘルスプロモーション 8020よい歯コンクール表彰式、歯科講演会 【手順】毎年恒例の行政が中心となった健康まつりで、歯科相談、8020表彰今年度は、歯科講演会を別途日を設け 高齢者対象に大規模に開催。	行政単位にて、住民のお口の健康に力を入れている。今回は、高齢者を対象にオーラルフレイルの予防、口腔機能トレーニングのお話をする。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会 本庄市・上里町・神川町	
現状・課題等	小中学校におけるフッ化物洗口が浸透し結果が出ている。美里町にも検討して頂けることを期待する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】フッ化物 洗口(週1回法) 【対象】本庄市・上里町・神川町の小中学校 【方法】週1回法 フッ化物洗口 【手順】予め、決められた用法、用途、管理にて先生に実施してもらう。歯科医師会指導済	DMFT指数が、年々、良い結果に結びついており、是非、今後とも継続していきたい。

実施機関	寄居町・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】むし歯・歯周病予防イベント 【対象】就学前小児と保護者・成人 【方法】歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発 【手順】	イベント参加者の増加

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域住民の健康長寿を達成するため、日本歯科医師会の推進する「8020運動」を普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】8020よい歯のコンクール 【対象】80歳以上で20本以上残存歯のあるお年寄り 【方法】歯科医師会会員の診療所、または保健センターからの推薦を受け当該患者さんの表彰を行う。特に優秀な方は、埼玉県歯科医師会推薦し、表彰を行う。	受賞者の増加

実施機関	各市町村・広域連合・埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域の歯科口腔保健の推進	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】節目健診、健康長寿健診、糖尿病性腎症予防健診の実施協力 【対象】40～70歳5歳ごとの節目、75歳当該者、糖尿病性腎症予備軍当該者 【方法】行政、広域連合等が行っている上記事業への協力と当該患者さんへの 【手順】健診、歯科保健指導	受診率の向上

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	健康増進・生活習慣病の予防に関し、市民に対して生活習慣の改善、健康測定や健診の重要性、薬の適正使用等について啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】薬と健康フェア・産業祭 【対象】市民 【方法】市民公開講座の開催、健康測定・健康相談・薬相談の実施 【手順】生活習慣病に関する講演会の開催や、薬相談・健康相談・各種健康測定を実施し、市民に対して健康増進・生活習慣病予防・薬の適正使用・健診の重要性等について啓発する。	1. 生活習慣病の予防や重症化予防について啓発する。 2. 健康測定・健診の重要性を啓発する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	健康増進・食育推進について引き続き学ぶ	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】健康増進・食育に関する理解 【対象】会員薬局 【方法】定例の勉強会にて健康増進・食育について学ぶとともにサイボウズにおいて情報を提供する 【手順】	勉強会へ多くの会員に参加してもらう

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病等の予防、重症化予防について学び、情報を提供する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】地域住民に生活習慣病に関する知識を普及させる 【対象】地域住民・会員薬局 【方法】血液検査等の数値をチェックし、必要に応じてアドバイスする お薬手帳に数値を記入したり、重症化する前に受診を勧奨する 【手順】	お薬手帳を活用できるようにする

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】生活習慣病に関する講習会・勉強会を実施します 【対象】薬剤師会会員 【方法】薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。 【手順】薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病予防のための知識の普及啓発に取り組みます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させる為、健康まつり等に参加し、生活習慣病相談を実施します。 【対象】地域住民 【方法】健康まつりに参加し健康相談・おくすり相談の実施、生活習慣病予防のアドバイスをおこないます。 【手順】生活習慣(食事・運動など)の改善指導、健康食品の利用により予防のためのセルフケアをすすめます。	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	計画策定に携われるのは、学校薬剤師がその担当の学校保健安全委員会においてのみ可能な状況ですので、まずはその機会を活用してすすめたいと存じます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備 【対象】 地域の小中学校の児童や生徒その保護者や先生など 【方法】 担当学校薬剤師を通じて、児童・生徒に「健康増進・食育向上」に関する正しい知識を伝達し、そのためにどのような行動すべきかについて助言を与えます。 【手順】	各学校薬剤師が年1回必要な講演を実施します。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	会員薬局に来局される患者さんはすでに医師の治療を受けているのでかなり意識は高いと思われれますので、イベントに参加なされる地域の皆さん(若年層も来場)を対象に行うことが「健康の大切さ」への意識付けのきっかけになると思われれます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨 【対象】 寄居町健康まつりに来場なされる地域住民 【方法】 11月11日開催予定の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。また血圧測定や体脂肪測定、血流測定そして食事や生活習慣の聞き取りを行い、健康診断の結果など聞いて受診勧奨を行います。 【手順】	健康まつりにおいてミニ健康講座の実施と健康チェックコーナーでの健康相談実施予定。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	健康マイレージという仕組みを利用し、健康寿命の延伸を図ることを目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 健康マイレージ事業 【対象】 18歳以上の市民 【方法】 専用の歩数計又はスマートフォンアプリを使用し、参加者の歩数を計測する。歩数データを送信したり、各種指定事業に参加することでポイントが貯まり、一定ポイントで抽選にエントリーされる。 【手順】	参加者数 1,000人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	熊谷市第3次健康増進計画に基づき、市民一人ひとりが行う健康づくりを地域社会で支援することにより「だれもが安心して健康に暮らせるまち くまがや」を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 健康増進計画の推進、策定 【対象】 市民 【方法】 基本項目を掲げ、目標達成のための施策の推進を図る。 【手順】 目標値の状況を毎年把握し、評価検証を行い、市民健康長寿の延伸を図る。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	糖尿病予防のために必要な知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 糖尿病予防教室 【対象】 糖尿病予防に関心のある市民 【方法】 市報や前年度の特定健診の結果、HbA1cが基準値を超えている方に 【手順】 案内通知などにより周知し、教室を開催。(年3コース 1コース2回) 教室では、①糖尿病予防の講話、運動の実技指導 ②個別相談を実施。	参加者数 150人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	生活習慣病予防のために、必要な栄養・運動に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】 ヘルスアップ教室 【対象】 運動習慣のない市民(主治医による運動制限のない方) 【方法】 市報や前年度特定健診の結果で、HbA1Cが基準値を超えている方に案内通知などにより周知する。教室を開催。(年5コース 1コース4回) 【手順】 食生活の講話、運動の実技指導を実施。	参加者 500人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自らの健康を見直す機会が少ないおおむね20歳代から40歳代の女性に対し、健康づくりに関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】 がんばる女性の健康セミナー 【対象】 おおむね20歳代から40歳代の女性市民(妊娠中の方は除く) 【方法】 市報等で周知し、セミナー開催場所の子育て支援拠点に申込む。セミナーを年11回開催。 【手順】 セミナーでは乳がん・子宮がんの講話、運動の実技指導を実施。	参加者数 150人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】 個別がん検診等 【対象】 胃・大腸・肺がん検診:40歳以上、乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回)、子宮頸がん検診:20歳以上の女性(2年に1回) 前立腺がん検診:50歳以上の男性、骨粗鬆症検診:40・45・50・55・60・65・70歳の女性、肝炎ウイルス検診:40歳の方 【方法】 市内85医療機関にて個別検診を実施 【手順】 実施期間:6月～3月。周知は、市報・ホームページによる広報。前年度受診者及び20・30歳の女性、40・45・50・55・60・65・70歳の方、受診券の申込をされた方及び前々年度乳がん・子宮頸がん受診者へ受診券送付	受診率 胃がん検診 17% 肺がん検診 19% 大腸がん検診 20% 子宮頸がん検診 24% 乳がん検診 27%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民が主体的に健康づくりに取組めるように健康づくりに関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】 出前健康教室 【対象】 市内在住の10人以上の一般団体及びグループ 【方法】 市報等で周知し、依頼により保健師・管理栄養士・運動指導者等が 【手順】 地域に出向き、成人・高齢者の健康づくりに関する教室を開催。	参加者数 1,200人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民から相談に応じ必要な指導や助言等を行い、市民の健康づくりを推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	【事業名】 健康相談 【対象】 市民 【方法】 市報等で周知し、市民からの相談に対し保健師・管理栄養士が必要な指導助言を行う。	相談者数 380人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	歯周疾患の早期発見・治療や歯の喪失予防のために、知識の普及啓発と歯科検診受診率向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民 【方法】 市報や対象者への案内通知により周知し、市民からの申込みにより 【手順】 受診券を送付。市内の歯科医療機関92か所で歯科検診を実施。	受診率 6%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	高血圧予防に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 高血圧予防教室 【対象】 高血圧予防に関心のある市民 【方法】 市報や前年度の特定健診の結果、血圧値が基準値を超えている方に案内通知などにより周知する。教室を年2回開催。 【手順】 教室では、高血圧予防の講話、運動の実技指導を実施。	参加者数 50人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	がん教育の推進とがん検診受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 生命(いのち)の授業推進事業 【対象】 中学生及び小中学校PTA等 【方法】 がんについての正しい知識や命の大切さを伝える「生命(いのち)の授業」 【手順】 をNPO法人くまがやピンクリボンの会に委託し実施する。	中学生対象 16校 PTA等対象 10校

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	食育推進の担い手として、ボランティアを養成し、食を通じた市民の健康づくりを推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 食育推進セミナー 【対象】 食育に関心のある市民 【方法】 市報等により周知し、セミナーを開催。(1コース4日間) 【手順】 セミナーでは、食育に関する講話、調理実習を実施。	参加者数 20人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	運動習慣の定着および身体活動量を図るとともに生活習慣病予防につなげることができるよう支援します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ウオーキングクラス 【対象】 市民(主治医による運動制限のない方) 【方法】 市報等により、周知を行う。 【手順】 運動の実技指導を年4回実施。	延べ参加者数 320人

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	健(検)診事業の円滑な実施に努め、効果的かつ効率的な各種保健サービスが利用できるように関係機関との連携を図ります。また受診率が低いこと、受診率向上に向けた対策が課題となっています。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 特定健康診査等事業 【対象】 国民健康保険加入者で40歳以上の方 【方法】 個別健診、特定保健指導該当者に対して動機付け支援、積極的支援を実施。該当者全員に受診券を郵送し、受診勧奨を行う。 【手順】	・特定健康診査受診率 35% ・特定保健指導実施率 15%

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	糖尿病が重症化するリスクの高い者の人工透析への移行を防止し、国民健康保険被保険者の健康維持や医療費の適正化に資することを目的とする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 生活習慣病重症化予防対策事業 【対象】 ①受診勧奨対象者(未受診者・受診中断者) ・空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又はHbA1c(NGSP)6.5%以上 ・eGFRが基準値(60ml/分/1.73㎡)未満 受診中断者については、最終受診日から6か月経過しても受診した記録のない者 ②保健指導対象者 病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者でかかりつけ医の同意があった者 【方法】 受診勧奨対象者へは勧奨通知を送付し、保健指導対象者へは生活習慣改善支援プログラムの参加案内を送付する。 【手順】	約46人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	特定健康診査やがん検診の受診率を向上させるための取り組みの検討を行う。また、市民自ら生活習慣病予防の知識を習得し健康づくりに取り組めるよう、教室等を通して周知・啓発に努める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 特定健康診査・特定保健指導 【対象】 40歳以上の国保加入者 【方法】 国のマニュアルによる 【手順】 対象者抽出・広報及び対象者へ通知・健診実施(集団・個別)・評価	健診受診率、保健指導率の向上
	【事業名】 生活習慣改善教室(ステップアップ教室) 【対象】 特定健診受診者のうち保健指導が必要な方 【方法】 調理実習・運動実技・健康相談等 【手順】 計画・対象者抽出・教室参加勧奨・実施・評価	参加者数の増加。対象者に適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。
	【事業名】 がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供 【対象】 対象年齢の市民等 【方法】 前年度のがん検診受診者と20～39歳までの隔年、節目の年齢、50歳代に、受診券及び検診案内を送付。市広報・ホームページで告知。リーフレット配布。乳がん触知モデル展示による自己健診法の紹介等。	受診率の向上。および、がんの早期発見や予防についての周知・啓発を図る。
	【事業名】 健康づくりに関する各種教室 【対象】 おおむね40歳以上の市民 【方法】 講話・運動実技・血圧、体重測定・体力測定・調理実習等 【手順】 計画・告知・参加者募集・実施・評価	参加者数の増加。参加者が生活習慣を見直し、行動目標を設定し実践する。

実施機関	本庄市	
現状・課題等	・乳幼児期からの歯科口腔保健への取り組みの継続。 ・歯周病予防の推進を図るため個別歯周疾患検診(節目検診)を実施。受診者数を伸ばすための取り組みについて検討。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 乳幼児健診・健康相談における歯科検診・保健指導及び幼児個別歯科健診 【対象】 (乳幼児健診)1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児と保護者 (個別)3歳6ヶ月児・4歳児とその保護者 【方法】 (乳幼児健診)歯科検診(2歳児を除く)、ブラッシング指導、フッ素塗布(1歳6ヶ月・3歳児) (個別)歯科検診、フッ素塗布 【手順】 広報・対象者への通知・実施・評価	う蝕のある児の総数および一人あたりのう蝕歯数の減少
	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70歳の市民 【方法】 個別検診 【手順】 健診通知同封物や広報、HP等での周知及びポスターの掲示・実施・集計及び評価	検診受診者数の増加

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見を図るため健康診断を実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況であるため、ポスターの掲示、チラシの配布などを実施している。 健診等の結果、必要なたに対し健康管理についての保健指導や受診につなげ、重症化防止に努めている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 各種健康診断の実施及び受診勧奨 【対象】 40歳以上の市民(胃・前立腺がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上、乳がんは30歳以上) 【方法】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査 【手順】 がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮頸・乳) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 肝炎ウイルス検査 要精検者への受診勧奨 ニュースレター(保健センターだより)、リーフレットの送付	受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	成人期の歯の喪失原因である歯周病の早期発見を図り、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及をはかるため、歯周病検診を実施している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯周病検診 【対象】 節目検診(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達する方) 妊婦 【方法】 対象者に周知し、委託歯科医院で歯科検診、歯科相談及び保健指導を実施し、定期的に歯科検診を受けるきっかけづくりとする。 【手順】	受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	6月4日の「むし歯予防デー」にちなみ、こどもとその保護者、成人が口腔保健の必要性を理解し、8020運動の実践をすることを目的にイベントを開催している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 むし歯・歯周病予防イベント 【対象】 深谷市民 【方法】 歯科衛生士会に委託し、アリオ深谷センターコートで実施。むし歯・歯周病予防について講話、歯科相談等を実施 【手順】	イベント参加人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病の予備軍に対し、生活習慣病に移行させないために、対象者自身が健診結果を理解して体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるようにすることを目的として実施しているが、参加者数が少ないことが課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ハイリスク健康教育 【対象】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査及び深谷市国民健康保険特定健康診査において「保健指導」と判定され、高血糖や肥満により該当になったかた 【方法】 個別相談3回、血液検査1回その他、ふかや毎日プラス1000歩運動(コバトン健康マイレージ)事業にも参加 【手順】	参加者数及び血液データ等の改善により評価

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	骨密度測定を行うことにより、骨量減少の早期発見と早期治療を促進し、骨粗しょう症を予防していくための生活習慣の改善を図ることを目的として実施しているが、より受診が必要な壮年期の女性の受診率向上が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 骨粗しょう症検診・相談 【対象】 20歳以上の市民 【方法】 骨密度測定(DXA法)および結果説明、保健師・管理栄養士による相談 【手順】	壮年期女性の受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市健康づくり推進条例および健康づくり計画に基づき、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を送れるよう、ヘルスプロモーションの理念もと市全体で市民の健康づくりを支援し、健康なまちづくりを目指す。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 【方法】 健康づくりポイントカードをツールとし、各種健(検)診受診、協賛店の利用、登録事業への参加、自主的な健康づくりをポイント化。既定のポイント数を貯めて景品と交換。 【手順】	事業に参加して健康に関する意識が高まった人の割合、協力団体数、協賛店登録数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	健康づくりのために「運動を実践する」市民を増やすため、健康長寿埼玉モデル事業を県コバトン健康マイレージ事業を活用して実施する。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 ふかや毎日プラス1000歩運動 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 【方法】 ICTを活用し、歩数を計測。普段より少し多く歩く市民を増やし、健康づくりへの効果及び医療費への影響を検証する。県コバトン健康マイレージ事業を活用を継続。 【手順】	参加者数、健康づくり及び医療費への影響

<p>【事業名】 特定健診 【対象】 40～74歳国民健康保険加入者 【方法】 集団検診 【手順】 ①対象者には個別通知及びパンフレットを送付 ②電話での受診勧奨</p>	受診率55%
<p>【事業名】 特定保健指導 【対象】 特定健診受診者で、動機づけ支援・積極的支援が必要とされた者 【方法】 集団指導・個別指導 【手順】 指導対象者に保健指導を実施。</p>	特定保健指導率55% 自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
<p>【事業名】 食生活改善事業 【対象】 食生活改善推進員連絡協議会会員 【方法】 ①調理実習時に、管理栄養士による生活習慣病・食育等の講話 ②調理実習時に、体重測定・血圧測定の実施 ③塩分計を貸し出し、自分自身の家庭の塩分濃度を測定してもらう。 【手順】 ①②調理実習 3グループ×8回=24回実施</p>	生活習慣病や食育等についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	町では、脳血管疾患・糖尿病の方が増加傾向にある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	<p>【事業名】 スッキリ！げんき教室 【対象】 運動制限のない40歳以上の町民の方 【方法】 10月～3月の間に13回実施。身体測定・体力測定・運動教室5回 尿検査2回・アンケート提出2回・塩分計による減塩取り組みシート提出。歩数計を配布し、血圧・体組成・歩数をデータ管理(タニタに委託) 【手順】 特定健診結果に同封・広報等でお知らせし、実施後タニタデータ、尿検体力測定結果、アンケート等で評価をする。</p>	塩分計により、減塩に取り組み、継続した運動習慣を身につける
	<p>【事業名】 「健幸ときめき隊」 【対象】 平成27年度・平成28年度・平成29年度(めざせ！毎日1万歩運動・健康ときめき楽習会)講座修了者 【方法】 運動教室8回・栄養講座1回・身体測定1回・尿検査2回・アンケート提出2回・塩分計による減塩取り組みシート提出。歩数計を配布 血圧・体組成・歩数をデータ管理(タニタに委託) 【手順】 実施後、タニタのデータ・尿検査・アンケート等で評価をする。</p>	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	<p>【事業名】 ミムリン探健隊 【対象】 運動制限のない40歳以上の町民の方 【方法】 6月～2月の週に14回実施 歩数計を配布し、各公民館(3ヶ所)を起点とした、ウォーキングマップを作成し、歩いてもらう。 身体測定2回・尿検査2回・アンケート提出2回・減塩計による減塩取り組みシートの提出・マップの作成3回・ウォーキング2回・運動教室3回・栄養指導(講義)1回実施。血圧・体組成・歩数をデータ管理。(タニタに(つくばウエルネスリサーチより講師依頼) 【手順】 広報等でお知らせ 実施後、タニタのデータ・尿検査・アンケート等で評価をする。</p>	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	<p>【事業名】 生活習慣病予防訪問指導事業 【対象】 血圧値が要医療で服薬なしの方 【方法】 訪問指導 【手順】</p>	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる
	<p>【事業名】 健康相談 【対象】 特定健診受診者 【方法】 保健師・管理栄養士による健康相談 【手順】 特定健診結果にチラシを同封</p>	
	<p>【事業名】 生活習慣病予防のための情報提供 【対象】 全町民 【方法】 広報誌に生活習慣病予防のための情報を毎月掲載 【手順】</p>	生活習慣病についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	5歳児歯科健診の受診率が低い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年	<p>【事業名】 幼児歯科健診</p> <p>【対象】 2歳児、2歳6ヶ月児、5歳児とその保護者</p> <p>【方法】 ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布</p> <p>【手順】 2歳児・2歳6ヶ月児(同日実施):年4回、5歳児:年3回実施</p> <p>【事業名】 1歳6ヶ月児健診・3歳児健診</p> <p>【対象】 1歳6ヶ月児・3歳児とその保護者</p> <p>【方法】 <<1歳6ヶ月児>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 <<3歳児健診>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布</p> <p>【手順】 各健診4回実施</p> <p>【事業名】 歯周疾患検診</p> <p>【対象】 集団健診:40歳以上の町民 個別健診:40・45・50・55・60・65・70・75・80歳</p> <p>【方法】 歯周病疾患等の検査、歯科衛生士による歯科相談・指導</p> <p>【手順】 集団健診:特定健診時に実施(10日間) 個別健診:8月～3月実施</p> <p>【事業名】 「8020運動よい歯のコンクール」表彰</p> <p>【対象】 町の成人歯科健診を受けた方で、80歳以上で自分の歯が20本以上</p> <p>【方法】 健康まつりで表彰式を実施</p> <p>【手順】</p>	<p>幼児のう蝕の減少</p> <p>受診率の向上</p> <p>成人及び高齢者の歯周疾患予防</p> <p>歯の健康に対する意識の向上を図り、あわせて健康の保持増進を図る</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	・ライフステージに沿った歯科保健サービス体制の構築 ・歯科保健事業の充実及び歯科検診受診率の向上を目指す	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	<p>【事業名】マタニティカフェ(年2回実施) 【対象】妊婦と配偶者 【方法】歯科医師による歯科検診と講話及び唾液検査。助産師による何でも相談。 【手順】同上</p> <p>【事業名】妊婦歯科個別検診 【対象】妊婦 【方法】町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察 【手順】歯科医院へ予約し受診</p> <p>【事業名】乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導 【対象】6ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳児及び保護者 【方法】歯科衛生士によるブラッシング指導等 【手順】健診に来た人全員に実施</p> <p>【事業名】成人歯科個別検診 【対象】30歳から80歳までの5歳きざみの方 【方法】町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察 【手順】歯科医院へ予約し受診</p> <p>【事業名】8020運動 【対象】80歳以上で自分の歯が20本以上ある方 【方法】コスモまつり時に表彰 【手順】歯科検診により抽出又は町内歯科医師からの推薦、本人に連絡</p> <p>【事業名】地域支援事業(年19回実施予定)『介護予防10教室で各2回』 【対象】一般介護予防事業対象者 【方法】衛生士による口腔指導・相談、口腔体操 【手順】集団指導</p>	<p>・妊娠中の口腔内を健康やかに保つとともに、生まれてくる子や家族の歯の健康づくりについても意識を高める</p> <p>・参加率目標30%</p> <p>むし歯のない子の割合 目標: ・1歳6か月児健診100% ・2歳児歯科検診 ・3歳児健診</p> <p>自分や家族の口腔の状態に関心を持ち、口腔ケアを実践する人が増える</p> <p>歯の喪失を防ぎ、よく噛める歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいき過ごすことができる</p> <p>口腔健康の意義への理解</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	・健康増進の重要性について住民全体の共有化を図るとともに、ライフステージごとの効果的な生活習慣病予防対策事業を実施していく ・町民の生活習慣の改善に繋がる魅力ある事業展開 ・食生活改善推進協議会の活動充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	<p>【事業名】健康相談 【対象】全町民 【方法】保健師による健康相談を実施(毎週水曜日午前中) 【手順】広報、町HP等で周知</p>	<p>町民一人ひとりが正しい生活習慣を身に付け、QOLの向上を図り、生き甲斐を感じながら生涯いきいきと暮らせることを目指します。(健康増進計画の目標より)</p>

<p>【事業名】 毎日1万歩運動 【対象】 20～74歳の住民(200名定員) 【方法】 ・タニタに委託して実施 ・活動量計(万歩計)をつけて、毎日1万歩を目標にウォーキング ・月1回タニタへデータ送信する ・体力測定などで評価 【手順】 ①各自ウォーキング ②歩数イベント・かわら版(支援レター)等でモチベーションを維持 ③体力測定・アンケートで成果の確認 ④埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加</p>	
<p>【事業名】 ウォーキング教室の開催 【対象】 40歳～74歳までの約20名 【方法】 一般コース:6月から3月まで8回開催。健康運動指導士による教室を開催 継続コース:年回3回開催。健康運動指導士による教室を開催 【手順】 募集－実施－検証</p>	
<p>【事業名】 健康チャレンジ教室(国保事業) 【対象】 40～65歳までの町民、運動制限のない方 【方法】 保健師、管理栄養士、スポーツケアトレーナーにより年24回実施 【手順】 講話と運動。見込延べ人数300人</p>	
<p>【事業名】 地域健康づくり出前講座 【対象】 全町民 【方法】 保健師等が地域に出向き健康づくり講座を実施 【手順】 募集・日程調整・実施</p>	<p>地域ぐるみでの健康 づくり講座の実施</p>
<p>【事業名】 食生活改善推進協議会活動の充実 【対象】 全町民 【方法】 食生活を通じた健康づくり事業の展開 【手順】 食育の推進、生活習慣病の予防及び食生活改善の推進</p>	<p>地域に根ざした食生 活改善推進活動の実 施</p>
<p>【事業名】 親子料理教室 【対象】 小学校3年生から6年生の児童と保護者 【方法】 食生活改善推進員が中心となり調理実習と講話を実施。 【手順】 募集・調理実習・保護者の講話</p>	<p>子どもが料理することを 楽しみ、一人で料理がで きることを目指す。</p>
<p>【事業名】 子ども農園 【対象】 3歳～小学生の親子 【方法】 栽培から収穫、調理までの一連の流れを経験してもらうことで、子ども たちの「食べる力」を育む。 【手順】 募集・種まき・収穫・調理を体験する</p>	<p>親子や家族とのかかわ り、仲間や地域とのかか わりを深め、子どもの健 やかな心身の発達を促 す。</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・県の示す標準化死亡率(SMR)において、男女とも脳梗塞の数値が県内でも高く、当町では今だ150を越える高い値を示している。 ・特定健診・特定保健指導の受診率の向上 	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 特定健診</p> <p>【対象】 国保加入者(40～74歳)</p> <p>【方法】 集団健診、個別健診、人間ドック等</p> <p>【手順】 受診勧奨・実施・評価</p> <p>【事業名】 特定保健指導</p> <p>【対象】 40歳～74歳の国保加入者等及び受診者の中で指導の必要な方</p> <p>【方法】 保健師や管理栄養士により訪問による初回面接を行い、6ヶ月間継続できる生活習慣病予防の目標を立て、その成果に基づき評価を行う。</p> <p>【手順】 計画・対象者抽出・実施・評価</p> <p>【事業名】 健診結果説明</p> <p>【対象】 特定健診受診者(後期高齢者も含む)</p> <p>【方法】 保健師・管理栄養士による個別相談を2会場2日間(午前・午後)実施</p> <p>【手順】 計画・実施・評価</p> <p>【事業名】 重症化予防のための個別訪問</p> <p>【対象】 特定健診の受診者のうち、血圧・血糖・腎機能の数値が心配な方</p> <p>【方法】 保健師と管理栄養士による個別訪問・指導を実施</p> <p>【手順】 計画・実施・評価</p> <p>【事業名】 生活習慣病重症化予防対策事業(埼玉県・国保連合会との共同事業)</p> <p>【対象】 ①特定健診受診者のうち、血糖・腎機能の数値が基準以上の方 ②糖尿病性腎症の病期がⅡ～Ⅳ期の方で医師が認めたもの</p> <p>【方法】 ①医療未受診者・中断者への通知・電話による受診勧奨 ②糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導</p> <p>【手順】 計画・委託・実施・評価</p>	<p>特定健診受診率 40%</p> <p>対象者に対し、適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。</p> <p>特定保健指導実施率 60%</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	がん検診の若年層の受診率向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 がん検診受診勧奨啓発</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 町内各種団体の会議、事業時に啓発チラシ配布</p> <p>【手順】 広報や回覧等で周知。のぼり旗の設置。各種団体の会議等でチラシの配布。成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布。町内幼稚園及び保育所にチラシを配布し受診勧奨。</p> <p>【事業名】 がん検診等検診費用の無料化</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 町実施のがん検診等すべての検診の自己負担金を無料とする。</p> <p>【手順】 広報・個人通知等にて周知するとともに、がん検診等の受診勧奨を行う。</p> <p>【事業名】 がん検診推進事業の実施</p> <p>【対象】 ・子宮頸がん検診:21歳 ・乳がん検診:41歳</p> <p>【方法】 受診無料クーポン券配布し受診勧奨</p> <p>【手順】 対象者抽出・クーポン券発送・受診・支払い・国へ申請</p> <p>【事業名】 がん検診等ポイントカード配布事業</p> <p>【対象】 全町民</p> <p>【方法】 がん検診やその他の検診及び教室等に参加することでポイントをため、男性30ポイント、女性40ポイント貯まった方に粗品を進呈する。</p> <p>【手順】 ポイントカード配布・押印・確認・粗品進呈(500円相当)</p>	<p>がん検診受診率向上</p> <p>がん検診受診率向上</p> <p>がん健診の受診率向上及び未受診者の受診率向上</p> <p>受診率向上</p>

実施機関	神川町	
現状・課題等	保健統計及び健診結果、医療費等の分析を行い、神川町の現状と課題に即した疾病予防対策を実施。また、研修を重ねて保健師等の資質向上を図る。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】健康課題分析事業の実施及び保健指導等に関する研修会への参加</p> <p>【対象】保健師、看護師、管理栄養士等</p> <p>【方法】健診データ・レセプト分析等により健康対策、疾病予防対策立案</p> <p>【手順】隔月ごとに町広報に認知症予防のための正しい知識、啓発の記事及び簡単な料理のレシピを掲載</p>	町の健康課題の分析

実施機関	上里町	
現状・課題等	がん検診受診率の向上が必要	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】1 検診費用無料化</p> <p>【対象】がん検診受診者</p> <p>【方法】平成30年度より、がん検診の自己負担がすべて無料となる</p> <p>【手順】健康ガイドブック、広報、ホームページ、個別の受診勧奨等で周知</p>	全がん検診受診率の向上 目標:50%
	<p>【事業名】2 がん検診受診勧奨</p> <p>【対象】以下のとおり</p> <p>【方法】1)40歳男女に健康増進事業の紹介も含めて、個別の受診勧奨を実施 2)30歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付勧奨文を個別通知 3)町内保育園・幼稚園を通じて子育て世代の女性に対して子宮頸がん受診勧奨のチラシを配布 4)「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した個別の受診勧奨、再勧奨を実施。対象者は51歳、61歳で5がん検診のいずれも申込をしていない方へ5がん検診の受診勧奨、その後、同年齢で大腸がん検診を申込していない方へ大腸がん検診の再勧奨を行う。 5)各世帯ごとに申込書を配布(健康ガイドブック) 6)広報、ホームページなどで周知</p> <p>【手順】平成30年度のがん検診申込開始時に対象年齢の方に受診勧奨を行う</p>	
	<p>【事業名】3 がん検診啓発事業</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】①「めざせ、受診率50%」のロゴの活用(庁用車にマグネットで貼付、センター内にのぼり旗の常設)②がん予防教室</p> <p>【手順】②については男女共同参画推進センターと共同実施</p>	
	<p>【事業名】4 がん検診推進事業</p> <p>国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により、①個別の受診勧奨・再勧奨②精密検査受診勧奨を行う。①については「2 がん検診受診勧奨」により実施。②については5がん検診受診者で要精密検査となった方のうち、精検受診結果が確認できない方に対して受診勧奨と受診結果確認を兼ねた通知文を個別に郵送する。</p> <p>【手順】①は5月、10月ごろを目途に実施、②は1月ごろより実施。</p>	

実施機関	上里町	
現状・課題等	生活習慣病予防のための教室として、健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」を継続。3年目となる今年度は、新たに50名を募集する。1・2年目の成果を周知し、事業に参加できない住民にも健康づくりの大切さをPRする。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】健康サイクルかみさとプロジェクト「からだ改革塾～ウォーキング編～」</p> <p>【対象】20～74歳の町民の方で運動制限のない方</p> <p>【方法】毎日のウォーキング、身体・体力測定、血液検査、筋トレや食事の教室等</p> <p>【手順】</p>	生活習慣病予防のための規則正しい生活習慣の知識普及と定着化

実施機関	上里町	
現状・課題等	集団健診の日程は予約で満員となったが、目標としている受診率には達成していない状況のため、下半期に実施を予定している個別健診の受診勧奨を実施	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 特定健康診査(個別健診)受診勧奨 【対象】 40～74歳までの国民健康保険加入者のうち健診未受診者 【方法】 ①広報掲載②申込みや希望の有無に係わらず受診券を個別に送付③ 【手順】 電話で受診勧奨④ホームページに掲載	医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導に準ずる

実施機関	上里町	
現状・課題等	特定健康診査等の結果、糖尿病の検査項目であるHbA1cの値がやや高い方が多いため、糖尿病に対する正しい知識の普及と重症化予防の教室を実施	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 糖尿病予防教室 【対象】 HbA1c6.2%以上又は空腹時血糖110mg/dl以上の方とその家族 【方法】 広報で周知し、さらに特定健診受診者のうち対象者には個別通知 【手順】 運動実践、糖尿病に関する健康講話、食事診断	糖尿病予防のための正しい知識の普及と生活習慣改善

実施機関	上里町	
現状・課題等	平成29年度まではがん予防推進対策事業として実施していたが、より多くの住民に健康づくりを実施してもらえるよう内容や参加条件を見直した。さらに、31年度以降健康マイレージ事業へ移行する予定のため、準備を進める。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 上里町いきいきスタンプラリー 【対象】 各種検(健)診受診者・教室参加者等 【方法】 対象事業に参加したり、自らの目標にチャレンジするとスタンプを押印。賞品の交換条件を昨年度より緩和し、記念品を贈呈。さらに、抽選で豪華な賞品が当たる。対象事業は、生涯学習課、高齢者いきいき課と連携。 【手順】 検診や教室等で台紙の配布や押印、景品引き換えは保健センターで行う。	景品交換者(スタンプラリー参加者)500人

実施機関	上里町	
現状・課題等	歯の喪失原因である歯周疾患を早期に発見し、予防する。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の男女 【方法】 <検診受診方法> 対象者は委託歯科医療機関に事前予約し、受診する。(受診費用;無料) <周知方法> 【手順】 1)受診勧奨(①5月下旬対象者全員へ他の受診勧奨と同時発送②10月下旬40・50・60・70歳(法定節目年齢)未受診者へハガキ送付)2)広報やホームページに掲載 4)保健センターや実施歯科医療機関にポスター掲示	受診率:8.5%

実施機関	上里町	
現状・課題等	骨粗鬆症を早期に発見し、転倒による骨折やロコモティブシンドロームを予防するために実施。早期発見することで、食生活や運動など生活習慣を見直す契機とする。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年	【事業名】 骨粗鬆症検診 【対象】 受診希望者 【方法】 ①40・45・50・55・60・65・70歳女性に個別に受診勧奨通知 ②広報掲載 ③ホームページ掲載 【手順】 肺がん・結核検診と全日程同時実施。	受診率:節目年齢30%以上

実施機関	上里町	
現状・課題等	健康増進・食育推進計画の基本理念のもと、生活習慣病の予防や健康づくり推進のために全町的に取り組んでいく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」 【対象】 全町民 【方法】 計画の目標を達成するため、全町的に健康づくりに取り組む。 【手順】 各課で計画を念頭に事業に取り組んでもらう。	28年度から取り組み、32年度に中間評価。目標や評価指標は、計画に準ずる。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康長寿計画(健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)が29年度策定され、30年度より目標の実現に向けた取り組みを展開していく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 計画の進行管理と評価 【対象】 【方法】 健康長寿計画に掲げた 評価指標にそって事業評価を行う 【手順】 評価指標に掲げられた項目について実績の把握を行う 健康づくり推進協議会を開催し、協議検討を行う	計画の進行管理と評価を行う

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康長寿県下No.1をも坐した健康づくり事業の継続	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 生活習慣病予防事業 【対象】 20歳以上の住民 【方法】 生活習慣病予防について普及啓発に努める 【手順】 寄居プラス1000歩運動を継続実施するほか、スマイルポイント事業、ラジオ体操教室、栄養教室等を開催し、生活習慣病予防の普及に努める。	健康づくり事業を実施し、生活習慣病予防の普及に努める。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康長寿計画策定の際行った、住民アンケートでは「歯間ブラシや糸ようじを使う」「フッ化物入りの歯磨き剤を使用している」「よく噛んで食べる」「感触や甘いものを控えている」などの割合は2～3割と低い数値であった。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯科口腔保健推進事業 【対象】 幼児とその保護者、20歳以上の住民 【方法】 歯科口腔保健、歯科疾患予防の普及啓発に努める 【手順】 歯科イベントの実施。幼児を対象とした事業の中で、口腔ケアの重要性普及啓発する。	歯科イベント等実施し、普及啓発に努める

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	生活習慣病の予防や生活習慣の改善を促進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が埼玉県健康長寿計画の目的であり、地域における生活習慣病の発症と重症化予防が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備 【対象】 各市町、健康づくり関係団体、民間企業を含む食育関係団体等 【方法】 会議・研修会の開催 【手順】 食育・健康づくり関係団体の支援、研修会の開催	

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域住民の健康課題を明確にし、課題となった生活習慣病の発症と重症化予防のための事業の展開が求められている。市町と協力しデータヘルス計画策定後の健康課題を改善するための効果的な保健事業につなげることが課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 医療保険者のデータヘルス計画策定支援事業 【対象】 各市町、健康保険組合、健診実施機関 【方法】 会議や研修会の開催、市町や健康保険組合等の支援 【手順】 市町健康課題対策会議の開催	

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケア体制の整備に伴い、在宅における歯科口腔保健体制の整備が求められている。在宅療養者の口腔ケアの実施が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯科口腔保健計画推進事業 【対象】 各市町、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会、地域包括支援センター 【方法】 会議の開催 【手順】 保健所歯科口腔保健連携会議の開催	

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	データヘルス計画は管内市町策定済み、施行中。同計画を効果的に活用して、特定健康診査・特定保健指導等保健事業を実施。生活習慣病の重症化予防や住民の健康寿命の延伸を図る。特定健診受診率及び保健指導実施率の目標達成が課題。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 地域職域連携推進事業(保健指導実務者研修会等の開催)及びデータヘルス推進事業 【対象】 市町特定健診他保健事業担当者、事業所等健康管理部門担当 【方法】 研修会及びロールプレイング他 【手順】 健康課題分析で優先課題を見出し、効果的な行動変容を促す手法を学ぶ。	管内だけでなく広域での研修を通じ、市町の保健部門、国保部門との健康課題の共有、効果的な保健事業の実施、事業の評価方法について学ぶ

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	若年期からの生活習慣病予防について情報提供していく。働き盛り世代には、生活習慣病予防や重症化予防をアプローチする機会が得られにくい。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 食育推進事業 【対象】 保育園の栄養士、保育士や看護学生 【方法】 講義形式の研修会や調理実習、グループワーク 【手順】 生活習慣に関するアンケートの実施、食育事例等の紹介、情報交換会の開催	食や健康に関する正しい知識を習得する

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	高齢化社会において健康な生活を送るため、また、管内75歳以上死因割合が2番目に高い肺炎の予防のため、口腔ケアの重要性の周知及び支援が必要である。地域在宅歯科医療推進拠点の効果的な活用を目指す。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 歯科口腔保健連携会議 【対象】 管内市町、歯科医師会、歯科衛生士会、高齢者福祉・介護関係者 【方法】 歯・口腔の健康管理をテーマにしたグループワーク 【手順】 関係機関による情報交換、課題検討を行う	8020運動の推進とともに、口腔ケアが必要な住民に提供できるよう関係機関が顔の見える連携づくりをする。

事業名 健康危機管理体制の整備充実

目標 大規模災害の発生時には、医療資源を最大限活用し適切な医療を提供できるよう、関係機関の連携体制を構築します。また、被災者への健康管理活動が適切に実施できるよう活動体制を強化します。
 新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合に備え、地域医療体制の整備、関係機関の連携、研修・訓練の実施に努めます。また、大規模集団感染などの事例が発生した場合には、保健所、市町、医療機関等が協力して住民の生命・健康の保護に努めます。
 食品等事業者による衛生管理の国際標準であるHACCP(危害分析・重要管理点方式)に基づく衛生管理の導入を支援し、食品の安全性確保、食中毒の発生防止を推進します。また、県民に対して食品の安全確保に関する情報を積極的に提供します。

主な取組 ■大規模災害時における医療提供体制の確保
 ■中長期的な健康管理活動の確保
 ■新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
 ■食の安全安心
実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部、食品等事業者、食品関連団体

平成30年度 北部保健医療圏圏域別取組実施計画

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】災害時における医療救護活動 【対象】一般市民 【方法】医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう体制の整備や調整を進める。 【手順】	

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	防災連絡網は出来ているが、連絡手段が固定電話番号のみとなっている。災害時に有効なものとするために、複数の連絡手段の作成が必要と思われる。連絡方法の徹底を引き続き図る	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】熊谷市歯科医師会災害対策本部 【対象】熊谷市歯科医師会会員(全会員) 【方法】災害対策本部の設置 【手順】	災害に備え全会員を組織化する

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	平成28年3月29日(火)に災害時における医療救護活動に関する協定を締結した。より綿密な協力体制を整える必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】熊谷市総合防災訓練 【対象】 【方法】会議への参加及び訓練への会員の派遣 【手順】	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、災害時の協力体制を引き続き整える。

実施機関	埼玉県、(一社)埼玉県歯科医師会、(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	身元確認における口腔内チャートの採得等、会員全体のスキルアップが引き続き課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】防災連絡協議会、身元確認班研修会 【対象】 【方法】協議会、研修会への会員の派遣 【手順】	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、会員のスキルの向上を図る。

実施機関	深谷市・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 深谷市福祉健康まつり 【対象】 地域住民 【方法】 歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発 【手順】	イベント参加者の増加

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	埼玉県歯科口腔保健計画を踏まえ、小児う蝕予防の推進	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 小児う蝕予防対策事業 【対象】 幼稚園・保育所・小中学校 【方法】 集団によるフッ化洗口の実施 【手順】	実施施設の増加

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	大規模災害時における医薬品の供給や医療提供体制の確保に向けた取組	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 健康危機管理体制の確立と検討 【対象】 薬剤師 【方法】 定例会・委員会での検討、研修会への参加 【手順】 1. 大規模災害時、新型インフルエンザ等発生時の対応について、定例会・委員会等で検討し、会員間及び関連組織との間で情報共有する。 2. 災害時等の危機管理に関する訓練等の研修会に参加する。	準備態勢を平常時から検討し、情報共有する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	サイボウズによる会員間での情報共有、携帯電話での緊急連絡	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 大規模災害の発生時における医療提供体制の確保 【対象】 地域住民・会員薬局 【方法】 会員間で、日常から連携を強化する サイボウズによる情報共有 【手順】 お薬手帳の活用についても理解してもらう	災害時における薬剤師の役割等について学ぶ

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	災害が長引いた時の健康維持・健康管理について学ぶ	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 中長期的な健康管理活動 【対象】 地域住民・会員薬局 【方法】 災害時の健康管理等について学んだり、被災された人に会う機会があれば何が必要か、情報を得る 【手順】	中長期化した場合薬剤師に出来る事を広く理解してもらう

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	災害用医薬品・医療材料の備蓄と供給体制の整備	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 災害時の医薬品及び医療材料の備蓄と供給について整備する。 【対象】 深谷市・関係機関 【方法】 災害時における深谷市および関係機関との連携を図る。 【手順】	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認 【対象】 深谷市薬剤師会会員 【方法】 新型インフルエンザ等発生時の連絡訓練に参加する。 【手順】	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康危機管理体制そのものが当薬剤師会では構築できておりません。まずは行政の関連部署と協議させていただき、どのような順番にしてその都度何ができるかというマニュアル作成をめざします。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 【対象】 寄居薬剤師会薬局、寄居薬剤師会々員 【方法】 平成28年3月に協定を結んだ内容にそって、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供業務が円滑にすすめられるように準備をします。その拠点として寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について委任します。 【手順】	まずは災害発生日、1日目、3日目、7日目というような計時的に何をすべきかというマニュアルを作成する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研究し、TPOに合わせた服薬指導などできることを実践します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 中長期的な健康管理活動の確保 【対象】 会員薬局 【方法】 薬物治療を行っている患者様が疾病状態から脱却するまでに実施すること、その脱却後元にもとらないような助言や指導を各疾病別に検討し、随時患者様にお話する。疾病予防や健康増進の提案します。 【手順】	疾病と薬剤の研修だけではなく、疾病から治って元に戻らないような助言や指導の研修会を開催する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザが流行した時は抗インフルエンザ薬やマスクの入手が困難となり「大変な状況が起こり得る」ということを想定しながら対応策を練り、寄居薬剤師会薬局を中心に準備をします。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化 【対象】 会員薬局 【方法】 日頃から各会員薬局において抗インフルエンザ薬や抗生剤、消毒薬、マスク等を可能な分の備蓄をし、その管理を行う。インターネット等活用し必要でタイムリーな情報を共有する。 【手順】	定期的開催している研修会に危機管理の時間をつくり必要な情報を伝達します。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	大規模災害等に備えるため、熊谷市地域防災計画に基づき関係機関との連携強化を図ります。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 災害医療対策マニュアルの策定 【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会 【方法】 平成26年度にマニュアルが完成し、平成27年度に三師会と災害時の医療活動に関する協定を締結したので、引き続き、災害時の医療救護活動体制の連携強化について協議する。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時における各機関の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう努めます。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 総合防災訓練の実施 【対象】 医師、看護師等 【方法】 熊谷市総合防災訓練において、救護所運営訓練を行う。 【手順】 8月25日、熊谷荒川緑地 自由広場にて計画している。	参加機関は、60機関超、700人を見込んでいる。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の発生に備えるため、予防接種体制の構築を図ります。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 予防接種体制の整備 【対象】 熊谷市、医師会、医療機関 【方法】 予防接種体制を整備する。 【手順】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時に必要不可欠な、応急手当の普及啓発に努めます。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 救命講習会の開催 【対象】 一般市民及び各事業所 【方法】 電話による受付 【手順】 <ul style="list-style-type: none"> ・市報の公募による受付・開催(個人申込) ・希望する場所での出張開催(団体申込) 	開催数 52回 受講者数 1,300人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	本庄市地域防災計画により実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しており、昨年度の計画改訂により、医療救護班の編成について、協定に基づいた災害医療コーディネーターの役割を計画に位置付け。災害時要援護者避難支援プランを策定。新型インフルエンザ等対策行動計画を策定。また、有事の時に機能するよう行動マニュアルの作成が必要。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年度	【事業名】 災害時の医療救護活動に関する協定 【対象】 医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】 災害時における各関係機関との連携を確保 【手順】 協定書に則り実施	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する的確、適切な初動体制の確保
30年度	【事業名】 災害時要援護者避難支援体制の整備 【対象】 災害時に地域での支援を希望する要援護者抜粋 【方法】 災害時要援護者避難支援プランの推進。災害時を想定した連携の確認 【手順】 支援希望者リストおよび個別支援計画の作成・情報更新 地域防災計画に基づき、災害時における要援護者避難支援体制を維持	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	地域住民参加による総合的な防災訓練を実施。 (総合防災訓練年1回・土砂災害防災訓練年1回)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】本庄市総合防災訓練 【対象】本庄南小学校区域内の住民・児童・市職員等 【方法】地震を想定しての避難、救出、救護、消火等の訓練 【手順】小学校校庭を会場に実施 地域住民参加による実践的な防災訓練を実施	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する適切な避難誘導および情報伝達体制の確保
30年度	【事業名】土砂災害・全国統一防災訓練 【対象】高柳地区住民・市職員等 【方法】避難訓練、情報伝達訓練 【手順】対象地区の自治会を中心に、消防・警察・行政関係者が合同訓練を実施	

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	医師会・歯科医師会・薬剤師会との協定を締結	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】災害時の医療救護活動／応急医薬品の協力に関する協定 【対象】医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】災害時における各関係機関との連携 【手順】応急救護所を開設し、医師会に医療救護班の派遣を要請する。また、医薬品等を必要とするときは、薬剤師会に医薬品等の供給について協力を要請する。	利用者の安全確保と緊急時の対応体制の充実を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	市主催による総合防災訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】深谷市総合防災訓練 【対象】防災関係機関、関係団体及び市民 【方法】応急救護所運用訓練ほか 【手順】応急救護所及びトリアージホストを設置し、医療隊と連携し多数傷病者のトリアージ及び救護を行う。	応急救護所運用訓練の実施により、関係機関の連携体制の確立、確認を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	自主防災会による防災訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】自主防災会防災訓練 【対象】自主防災会員 【方法】初期消火、応急救護、炊出し訓練、災害図上訓練(DIG)等を実施する。 【手順】消防、消防団、地域防災指導員の指導により、防災訓練を実施する。	防災訓練を行うことにより、日頃からの防災意識の高揚と普及を図る。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	防災意識の高揚・対応能力の強化、防災関係機関、市民、事業所との連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	【事業名】深谷市総合防災訓練 【対象】市、防災関係機関、市民、事業所等 【方法】実践的かつ効果的な各種訓練を総合的に実施します。	災害対応能力の強化、防災体制の充実及び防災意識の高揚を図る。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	関越自動車道における災害の発生に対し、被害を軽減するため関係機関の連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 関越自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練 【対象】 消防、警察、埼玉DMAT、東日本高速道路㈱ 【方法】 多重衝突事故等を想定した、各関係機関との連携訓練を実施します。	各機関が連携した有効かつ効果的な活動ができるようにする。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	トンネル等における自動車の火災事故防止策について。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 皆野寄居バイパストンネル防災訓練実施 【対象】 消防、警察、土木整備部、道路公社 【方法】 寄居トンネル内で車両事故を想定した、各関係機関との連携訓練を実施します。	利用者の安全確保と災害発生時の対応の円滑化を図る。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、平時から関係機関と連携する必要があることから、国県が実施する訓練等に参加し、また発生時の住民接種の対応等について調整を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 研修・訓練への参加、関係機関との連携・調整 【対象】 関係機関 【方法】 国県が実施する行動訓練に参加、随時の情報収集。 【手順】	新型インフルエンザ等が発生した場合に備え、情報収集及び体制整備を図る。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	土砂災害、地新党の災害を想定した図上訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 図上訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織に町が出前講座を実施 【手順】	災害の予測、避難経路、避難場所等を確認する。備蓄品として常備薬、生理用品を盛り込むなど自己防衛、防災意識の高揚や、避難体制の強化を図る。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	初期消火訓練、避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、救護訓練、災害時要支援者避難訓練(疑似体験訓練)などを複数組み合わせ実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 防災訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織が地域住民を対象とした訓練を実施 【手順】	住民一人ひとりと自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。

実施機関	神川町	
現状・課題等	消防団員の救命技術の向上、地域住民による救護活動の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	<p>【事業名】 消防団員基礎教育訓練 【対象】 入団から3年以内の団員 【方法】 消防学校の教育訓練の基準に基づき実施 【手順】 埼玉県消防協会本庄児玉支部及び埼玉県消防学校で対象者に実施</p> <p>【事業名】 消防団員普通救命講習 【対象】 前回の受講から2年経過の団員 【方法】 普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施 【手順】 児玉郡市広域消防本部に依頼</p> <p>【事業名】 消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程 【対象】 消防団幹部団員 【方法】 消防学校の教育訓練の基準に基づき実施 【手順】 埼玉県消防学校で実施</p> <p>【事業名】 消防団員救助資機材取扱訓練 【対象】 消防団員 【方法】 消防団に配備されている救助資機材の取扱方法等の訓練 【手順】 児玉郡市広域消防職員を講師に実施</p> <p>【事業名】 普通救命講習 【対象】 町民・各種団体 【方法】 普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施 【手順】 神川町消防団応急手当普及員及び児玉郡市広域消防で実施</p>	<p>消防団員としての基礎的な火災防ぎよ、救助法、応急手当法を身につける。</p> <p>消防団員として、胸骨圧迫、AEDの使用法、止血法、異物除去法を身につける。</p> <p>幹部団員として災害現場での救助、救命法の現場指揮要領を身につける。</p> <p>分団に配備されている救助資機材を災害時に有効活用できるよう訓練を実施。</p> <p>消防団応急手当普及員として、町民に応急手当法の普及・啓発活動及び救命率の向上を目的とする。</p>

実施機関	上里町	
現状・課題等	上里町地域防災計画により実施。医師会、歯科医師会と協定を締結。(H12)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	<p>【事業名】 上里町災害対策本部応急活動 【対象】 被災住民 【方法】 初期医療等医療応急体制の整備 【手順】 救護所の設置、医療機関との連携・体制整備</p>	災害時の医療体制の確保

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における意識啓発を図り、各自に対応した心構えを平常時に培っておく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年 度	<p>【事業名】 防災フェスティバル 【対象】 地域住民、日赤奉仕団、消防団、児玉郡市広域消防本部、行政 【方法】 救助訓練、防災食の炊き出し等 【手順】 災害時における対応訓練を実施し、意識の啓発を図る</p>	災害時の意識啓発を図る

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における救命技術の向上 普通救命講習は2年に1度実施。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 普通救命講習 【対象】 消防団員 【方法】 応急手当の講習。2年に1度実施(平成31年度実施予定) 【手順】 未講習の消防団員に講習を実施	災害時の応急対応の備え

実施機関	上里町	
現状・課題等	新型インフルエンザ及び全国的かつ急速なまん延のおそれのある新感染症(未知の感染症)に対する対策の強化を図り、国民の生命・健康を保護し、国民生活・国民経済に及ぼす影響が最小にするために、対策訓練を実施する	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 新型インフルエンザ対策訓練 【対象】 上里町新型インフルエンザ等対策本部・本庄市児玉郡医師会 本庄市児玉郡歯科医師会上里代表・本庄市児玉郡薬剤師会上里代表 【方法】 上里町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき実施する 【手順】 国・県の連絡訓練と同日に実施する。	新型インフルエンザが発生したことを想定した連絡体制の確認

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	大規模災害発生時における合同訓練	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 大規模災害発生時の対応訓練 【対象】 消防本部、市町 【方法】 関係機関との合同訓練を実施 【手順】	災害時における市町との連携強化を図る。

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	管轄外で発生した大規模災害発生時における合同訓練	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 管轄外(群馬県)で発生した大規模災害発生時の対応訓練 【対象】 消防本部、市町、自衛隊、医師会、医療機関等 【方法】 関係機関との合同訓練を実施 【手順】	管轄外での災害時における関係機関との連携強化を図る。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	防災と健康管理部門との情報共有する場がなく、災害時の対応について情報共有が十分でない	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
30年 度	【事業名】 災害時における体制整備事業 【対象】 庁内関係課 【方法】 保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課 【手順】 で情報共有する。	保健所が開催する会議・研修会への参加

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	大規模健康危機管理体制における関係機関との連携強化、職員の対応能力の向上が必要とされる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 関係機関との災害時通信訓練</p> <p>【対象】 拠点保健所管内保健所、市町村、医師会、消防本部</p> <p>【方法】 衛星携帯電話・防災無線の通信訓練</p> <p>【手順】 保健所間の衛星携帯電話通信訓練、市町、医師会、消防との防災無線通信訓練の実施</p>	大規模災害時の通信手段の確保
	<p>【事業名】 健康危機管理訓練</p> <p>【対象】 保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等</p> <p>【方法】 大規模健康危機管理訓練・EMIS入力訓練の実施</p> <p>【手順】 国際的イベント開催に備えた健康危機管理訓練を実施 医療機関によるEMIS入力訓練を実施</p>	健康危機管理体制の整備充実
	<p>【事業名】 地域災害保健医療調整会議の設置</p> <p>【対象】 保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等</p> <p>【方法】 発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制の確保。</p> <p>【手順】 関係機関へのヒアリングと会議構成員の決定。 会議開催(年1回)</p>	発災時の地域災害保健医療対策会議設置体制の整備

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	温暖化等環境や生態系の変化、グローバル化を背景に海外で発生、流行する感染症が国内に流入し、発生が確認されている。近年では、平成21年の新型インフルエンザの大流行)や平成26年のデング熱の国内発生その他、海外では高病原性鳥インフルエンザやエボラ出血熱、MERS(中東呼吸器症候群)等の流行が確認されている。特に今後国内、管内において国際的なスポーツイベント等を控えていることも踏まえ、国内外の感染症発生や大規模集団感染等を想定した健康危機管理体制の強化が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 医療提供体制の整備</p> <p>【対象】 医師会、病院、市町、消防本部</p> <p>【方法】 医療機関等への協力依頼</p> <p>【手順】 感染症関連情報の提供(随時) 感染症担当者会議の開催(7月27日)</p> <p>【事業名】 新型インフルエンザ等感染対策体制整備</p> <p>【対象】 保健所、市町村、医療機関等</p> <p>【方法】 訓練等の開催</p> <p>【手順】 所内PPE着用訓練(6月12日・13日) 政府・県と連動した新型インフルエンザ発生を想定した連絡訓練の実施(11月) 感染症指定医療機関との患者搬送訓練の実施(11月9日)</p>	会議・訓練件数 参加機関数

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	近年、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157による広域的で大規模な食中毒事件が発生している。これらの食中毒はいずれも少量の原因菌で発症するため、食品関係施設での衛生管理を一層徹底する必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 HACCP制度化に向けた導入支援</p> <p>【対象】 食品等事業者</p> <p>【方法】 HACCP支援講習会の開催</p> <p>【手順】 HACCP支援講習会・個別相談会の開催(6月21日、11月、2月) 立入調査等によるフォローアップ支援(通年)</p>	食品事業者のHACCPに基づく衛生管理の導入支援

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	首都直下地震など多数傷病者の発生が見込まれる大規模災害時において、患者の重症度に応じた医療を提供するため、災害現場から救護所、地域の医療機関、更に後方医療機関に至る体系的な医療提供体制を構築する必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 災害時保健医療体制の強化</p> <p>【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、災害拠点病院等医療機関、地域災害医療コーディネーター、警察、消防、市町等</p> <p>【方法】 地域災害保健医療調整会議を設置し、発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制を確保する。</p> <p>【手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域災害保健医療調整会議について既存の会議の活用も含めた会議の在り方の検討 ・関係機関との調整 ・調整会議開催(年1回) 	地域災害保健医療調整会議の設置・開催

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の対応を適切かつ的確に行うためには、管内の関係者間での情報の共有や医療体制等の整備が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 ○新型インフルエンザ等対策会議 ○保健所管内市町感染症担当者連絡会議 ○新型インフルエンザ等入院協力医療機関との連絡体制の整備</p> <p>【対象】 保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部</p> <p>【方法】 対策会議:北部保健医療圏保健医療協議会、保健所において実施 連絡会議:保健所において実施 入院医療医機関との連絡体制整備:連絡網の更新と情報伝達方法の確認</p> <p>【手順】 最新の情報や知見の共有を図り、管内発生時の医療等体制整備に関する協議を行う。</p>	情報の共有と管内の医療体制整備

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等が発生した際に、保健所及び管内関係機関が適切かつ的確な対応ができるよう、知識の普及と対応能力の向上を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 ○新型インフルエンザ等対応訓練 ○関係者向け研修会</p> <p>【対象】 医療機関、市町職員、保健所職員等</p> <p>【方法】 訓練:情報伝達訓練、防護服着脱訓練等</p> <p>【手順】 県庁及び管内市町村、入院協力医療機関と情報伝達訓練を実施。関係機関に対する保健所防護服着脱訓練や車両搬送訓練への参加呼びかけ。医師会の協力を得ての研修会の開催。</p>	新型インフルエンザ等が実際に発生した時に、各機関が機能的に活動できる人材を育成する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	近年、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157による広域的で大規模な食中毒事件が発生している。これらの食中毒はいずれも少量の原因菌で発症するため、食品関係施設での衛生管理を一層徹底する必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
30年度	<p>【事業名】 HACCP制度化に向けた導入支援</p> <p>【対象】</p> <p>【方法】 } 熊谷保健所と共通</p> <p>【手順】 }</p>	食品事業者のHACCPに基づく衛生管理の導入支援